

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-97)、
廃棄物管理施設(72)、MOX燃料加工施設(2-57))」

2. 日時：令和5年9月11日(月) 13時30分～16時30分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、大岡主任安全審査官、田尻主任
安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、小野安全審
査官、上出安全審査官、山口係員

日本原燃株式会社

決得 執行役員 再処理・MOX設工認総括副責任者 他4名

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)から令和5年9月5日、
9月8日及び当日の提出資料に基づき、以下の事項について確認を行っ
た。

- ・今後の進め方
- ・申請対象設備の分類及び構造設計等に係る対応方針
- ・入力地震動の策定の検討状況

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・今後の進め方について、短期的な対応は個別に対応方針を整理しているた
め、全体として中長期的な進め方を今後は整理して示す。
- ・申請対象設備の分類及び構造設計等に係る対応方針について、作業の目的
を明確にし、目的達成のための具体的な作業の方向性、実施事項等を明確
にする。
- ・耐震について、現在進めている東側地盤及び西側地盤の減衰定数の検討に
おいて地盤の特徴により中央地盤の検討と細部で差分がある場合は、それ
に関しても説明する。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

7. その他

提出資料

「今後の進め方」

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html
- ・ 令和5年9月5日
「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和5年9月8日
「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	公開しましたとそれではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始します。本日のヒアリングは令和4年12月26日に申請があった最初にフッ化廃棄物
0:00:12	また令和5年2月28日に申請があったMOX燃料加工施設の設工認申請について資料をもとにヒアリングにて事実確認を行うものになります。
0:00:21	ヤマザキ成長側の出席者を紹介いたしますと本庁会議室からハバサキヤマグチとその他WEBからカミデ等また
0:00:32	耐震の内容が終わった後の進め方の方に入って竜巻の方に入ったときに改めてメンバー追加になるのでそのときに、
0:00:42	トランペット。
0:00:43	現時点でのあと原燃側の出席者について紹介をお願いします。
0:00:50	はい。日本原燃事務局の中でございます。
0:00:53	日本原燃側の出席者紹介いたします。
0:00:57	Steeringチームより、ケツクノモトイシグロタカヤイシハラ。
0:01:04	あと六ヶ所側からMOX及び再処理の事務局へ参加させていただいてございます。以上です。
0:01:12	それでは本日の旧リングの、
0:01:17	について、説明シート③の資料について原燃側から説明をお願いします。
0:01:24	はい。日本原燃の大戸でございます。それではですね本日、
0:01:28	冒頭にですね9月8日に提出させていただきました入力地震のさ、
0:01:34	あほ
0:01:36	に、
0:01:36	基づきまして現状の我々の一番、すいません、地盤物性関係の進捗についての状況報告をさせていただく。
0:01:49	というふうに考えてございます。状況は9月8日付の資料で、ご提出いたしました通り、岩盤部分の減衰定数ですね。衛藤。
0:02:02	オオニシ側から、はい。今の9月15日までメキにスタイルを適用してるところで檜垣ヤギさんのところ方が、サイトウてですね、それなりの精度でできたかなというところで今姫路城解析にかかっていると、
0:02:17	今ちょっとそういうふうな状況でございます。一方地震アカシ方法につきましては、今ちょっと入社とはイシハラのですね傾向が伝播経路の中でうまくとらえられていないような、

0:02:29	データが出てきているところということでございまして、これちょっと尾藤計測でのデータもとっておるもんですから、これ元にもう1分析できないかということらしてると。
0:02:39	ざっと申し上げますとそういう状況でございます。
0:02:44	その岩盤の減衰定数はそんなところございまして、あとですねちょっと口頭で恐縮なんですけれども、表層部制部門ですね、こちらまたちょっと今後の進め方の資料の方でもまたちょっと研究はさしていただいておりますけれども、
0:03:02	全体にですねこのちょっとシナリオの検討というのを進めているところなんですけども、ちょっと外部のですね、ご支援もいただきながらちょっとやっておるところなんですけども、
0:03:14	ちょっとその外部のご支援の方ですね議論してる中で、もう少しちょっと切ってじっくりですね、検討すべきであるといったようなコメントもいただいております今ですね
0:03:26	今週中にはまとめてとっていたんですけどもそれが少しちょっとお時間いただいてまとめた方がいいかなという状況になってございます。またちょっとスケジュールの話ではある。
0:03:37	衛藤すべてまた
0:03:43	他にちょっと大蔵。
0:03:52	藤。以上でございます。
0:03:56	はい規制庁浜崎です。神谷さん聞こえてますか。
0:04:02	大丈夫ですと、私の方でちょっと進行やってもいいですか。
0:04:09	はい。よろしくお願ひします。はい。キュウチョウハバサキ月へと。
0:04:13	ちょっと今日、急遽、
0:04:17	このヒアリングの構成をですね、最初に地盤モデルの技術的な話をさせていただく、で、後から今後の進め方の中で、スケジュールに関してそのうちの一つとして地盤モデルをという話だったんですけど、
0:04:32	ちょっと要は、最初に技術、技術的な話ということで今野元さんから、
0:04:38	話がありました表層についても含めてもですね、技術的な話については、ちょっと前半で、はい。やって、後半の進め方はあくまでもスケジュールの話ということにして、さしていただきたいと思ひます。
0:04:50	それで、今の説明で何点か確認したいんですけども、まず
0:04:57	東西地盤については、まず減衰の話があまり当初の進捗スケジュール、
0:05:06	通りにはいってないと。

0:05:07	いうふうに理解しましたけど、理解しましたけれども、
0:05:13	まずですね、ちょっと技術的な話を聞きたいんですが、
0:05:16	地震干渉法の話ですけれども、これは伝達関数、伝達関数を使った評価とは違うやり方、要は、
0:05:26	GL-2メートルと125メートルでしたっけ、の記録をもとに、統計的な処理を行って評価するというような、
0:05:38	地盤モデルのモデル化っていうものは関係ない、ある意味ですね、手法というふうに理解してたんですけども、
0:05:46	その伝達関数を用いる方も、東西地盤特に西側がうまくいってない。
0:05:53	こと自身は干渉法の東西の話っていうのは、何か関係性があるものなんでしょうか。
0:06:00	技術的な話で。はい。辨野でございます西澤がてこずっていう話をヒガシがもう一度やり直しをしたんですけれども。はい。というところの干渉法で、このデータのあれですね、連絡。
0:06:16	高校の入試は、傾向がどうもちょっと崩れてると言うのとは何か技術に関係があるのかということで、はい。7月ですね今あのですね、江藤六ヶ所の方で、これの担当の者を控えておりますのでちょっと私からはちょっとお答えできる能力がないので、向こうからちょっと答えてもらえればと。
0:06:35	思うんですけども六ヶ所オガワすみません、今浜崎さんのお問いに対してお答えすることできませんでしょうか。
0:06:43	はい。日本原燃のオオハシですこちらの声はすいません聞こえますでしょうか。はい聞こえます。はいありがとうございます日本原燃のオガセでございます。今のアノハバサキさんのご質問について回答いたします。
0:06:55	今浜崎さんおっしゃいました通り、あくまで地震伝達関数による検討は、速度とか、あと減衰定数そういったものをセットにして同定をかける手法で、一方で地震は干渉法というのはそういった地盤の速度構造とは関係なく、地震の観測記録から、
0:07:12	単純にその山の何ていうんですかね入射と反射の比率だけで減衰を単純に出すというところで、その地盤のモデル化みたいなのところの速度構造の同定みたいなのところが関係のないものになってございます。ですので、今回アノコウノ資料でもお示している1ポツの伝達関数に受けんと、
0:07:28	あと2ポツで地震干渉による検討を並べてますけれども、どちらもちょっと西ヒガシちょっと今うまくいってないですねと言っておりますけれども、

	その要因、うまくいかない要因というのは、別のものになっているというところがございます。まずここまでアノすみません事実としてお答えします。以上です。
0:07:43	はい。規制庁浜崎です。そうすると、自販消防に関しては、これは独立で、要は伝達関数の話とは独立で、今後資料提示等があるというふうに考えておけばよろしいですか。
0:07:59	日本原燃のオガセでございます。ちょっとタイミングのはなCも絡んでくるとは思うのですけれども、検討としてはどちらかに引っ張られるということはありませんので、個別に出すことは可能です。今のところ今後、今、この後スケジュール関係の話があると思うんですけれども、
0:08:16	なるべく一緒のタイミングで出せればというところでの検討はしているところでございます。以上です。はい。規制庁浜崎ですこちらで勤務してましたのは、今のところ中央地盤については伝達関数と地震は干渉、
0:08:31	法の結果というのが1回説明されてるんですけども、
0:08:35	今後、その伝達関数と自身は干渉の話がリンクするようなことだと、それを待ってないといけない。
0:08:45	だから時間的にはですね、できたところからまず内容を確認しましょうっていうスタンスの方がいいと思ってまして、そうすると、
0:08:55	伝達関数の話が、ある程度めどが立たないと、干渉法が出てこないのかなという危惧をしてたんですけども、
0:09:07	技術的には別物と考えておけばよろしいわけですね。
0:09:13	全然乗って、別物という認識でございます六ヶ所がされてよろしいですね。
0:09:19	はい。日本原燃はすべておっしゃる通り別物の認識でいただいてOKです。大丈夫でございます。
0:09:26	はい。規制庁浜崎です。その上でセットで資料提示がある、か或いは別に、別々で提示されるということは原燃の方で、
0:09:38	今後スケジュールを考えてもらえればいいと思いますのでまず技術的には全く別物というふうに理解しました。
0:09:48	はい。それでは、
0:09:52	瀬田浜崎です。
0:09:54	それで今後の進め方という観点では、スケジュールの話じゃなくてな、技術的な中身についてですけども、
0:10:04	当初はかなり、一つ二つ前ぐらいに、東西も含めて、伝達関数も地震干渉法も、結果を提出するという予定だったと思いますけれども、

0:10:18	やはり何だかんだという形でちょっと遅れがあって、なりつつある、ありますので、
0:10:25	今日の段階では今月末ぐらいに一つの資料提出ということで、お話あったんですけれども、
0:10:34	これがまたずれ込むような話っていうことは、まだあり得る。
0:10:40	大丈夫ですか。はい。全然ノモでございませう。正直申しまして、それはまだあり得るというふうには思っております。特にですね今西垣坂は、9月15日まで再同定を実施しておりますけれどもその結果を、
0:10:56	やはり見た時点で、社内の支援の方もう見ていただいてこれはもう一度同定すべきだよなとなればもうワンクールちょっと回すことになりますのでそうしますと、
0:11:06	少なくとも1週間は後ろ倒しになっていくと、いうことになるとは思っております。当初ですね9月8日までにシミュレーションを完了して9月15日に資料のご提示をと。
0:11:19	いうふうに申し上げておりましたけれどもやはりダンメンでは全部ワンパスでいけるようなスケジュールリングを、ひとまずはご定義はしておりましたけれどもちょっとこれは、
0:11:30	イタレーションが起きればちょっと遅れて、
0:11:35	あり得るだろうなということとはちょっとお話をさせていただいたところで危惧しておったことがその通りにちょっと起きてきたかなというところがございます。
0:11:45	ただ、ある程度こういうふうなやり直しが生じるというのはある程度想定内ではありますので、びっくりするようなことが大きい。
0:11:55	でございます。以上でございます。
0:11:58	はい、既設浜崎です現時点での野本さんというか原燃側の見解ということでは理解しました。
0:12:07	粗相は言いましてもですね、まだ10月以降の審査会合のスケジュールの話とかございますんで、
0:12:17	今後ですね、先ほど言いました、これはC、
0:12:23	D、今後で説明していただくのか、或いはある程度パッケージで出しますって話ですと、結構その会合だとか今後のスケジュールにも影響してきますんでですね。
0:12:34	ちょっとそこはある程度、麻痺、えっと、今日の資料っていいですか今後のスケジュール後からの資料もそうなんですけども、

0:12:43	10月或いは10月以降の審査会合の進め方も含めてですね、ちょっと今後説明の方、計画を立てて説明の方をしてもらいたいと思いますが、
0:12:55	まだ
0:12:57	ササキの話といえば先の話なんですけどね。はい。
0:13:00	今の段階からそういう。
0:13:02	計画を、を持ってですね、説明をお願いしたいと思います。
0:13:06	はい。原燃野本でございます。はい。承知いたしました。
0:13:13	はい。
0:13:14	来てた形です。
0:13:16	ちょっと中身の本当の中身に入る前にですね、技術的な意味での現状とか、今後について私の方から聞いたつもりなんですけども、
0:13:29	カミデさんの方から何か現時点で確認しておく時点事項とかございますでしょうか。
0:13:38	はい。カミデです。
0:13:42	雲南門田目聞けばいいのかなっていうのありますけど、とりあえず、聞くとすると、今、今日の
0:13:49	件、同状況メモの
0:13:52	西側も東側もそうなんですけど1ポツのGL-18メーターは10-125メーターの伝達関数についてって書いてあって、
0:14:07	資料を見ると他のところにもず全部で6種類ぐらい伝達関数あるんですけど、そのうち1ヶ所だけ頑張ってるってことなんです。
0:14:18	県の方でございます。すいません六ヶ所側からお答えできればお願いしたいんですけども。
0:14:32	六ヶ所が応答できますか。
0:14:35	すいませんマイク切れておりました日本原燃のオガセですいません。今回地盤モデルの構成として耐震建物08には書いておりますけれども、うちの地盤モデルというのは表層と岩盤と解放基盤以深というふうに分かれておまして、今回こちらでご説明しているのは岩盤部分の減衰定数ということで、
0:14:54	まさしく深さ的にはこの-125分の-18というところに該当いたします。今回その増幅特性として例えばシミュレーションなんかとして
0:15:04	観測記録に対して、合わせていくっていうのがまずリニア然りバイリニアで減衰出す時にやっているわけなんですけれども、やはりそういうシミュレーションとして効いてくるの結果として見ているところに対応するところがこの-125--18ですので、

0:15:18	少なくともここは合わせんとあかんだらうというような観点で、今こちらの深さのところを徳田市でこちらの進捗のペーパーには書かせていただいた次第です。ただ当然実施していることとしましてはカミデさん今おっしゃいました他の深さ間の
0:15:32	計6組み合わせの深さからですね、伝達関数を合わせに行っているということは事実としては変わらないところです。以上です。
0:15:41	規制庁小峰です。
0:15:44	答えがよくわからないんですね。
0:15:47	1ヶ所だけやってるんですかっていうことに対して、
0:15:51	イエスなのか、ノーなのかで答えられると思うんですけど、もしくは、この結果を踏まえて褒められるのかね。半田。
0:16:02	とかっていうのもあるかもしれないですけどちょっと簡潔に答えて。
0:16:07	はい、原燃のオガセでございますアノけすみません回答でいくと、Yesです全組み合わせの深さでやっているということです。
0:16:15	派遣ノモトでございます。ごめんなさい。小形さん。全深さのそれぞれの階層で、この伝達感染に対してのフィッティングはやっているんだけども、
0:16:26	GL-18-125年の愛を重点的に見ながらやっている、そういう理解で、お答えしてるっていう理解でいいですか。
0:16:36	日本原燃尾鷲すいません今おっしゃった通りです。はい。
0:16:42	辨野でございます。失礼いたしました。そういうことでございます。
0:16:47	そうだとすると、
0:16:50	今、
0:16:52	相川、東川ハママツ、
0:16:55	T
0:16:55	東側のGL18、125イケダから、
0:17:01	今2メートル-2メートル18とか2メートルの125とかっていうのは今どうて書けてるっていうことなんですか。
0:17:15	日本原燃のオガセでございます。一応これって、検討としてはですね六つの深さ間の伝達関数が個別に構図として表されていますけれども、全部1度に同定全部、六つですので、今のお話の観察や、
0:17:31	今の話の始め方だと、もう終わってます。以上なんじゃないですか。
0:17:42	アンケート日本原燃、あ、すいません。ヒガシははい。大体いいところまで行ったというこのペーパーに書いてるところですけども、六つの深さ

	の組み合わせの伝達関数それぞれが終わっているところというステータスです。
0:17:57	はい。規制庁甲斐ですそれぞれきちんと同定できたねっていうのが、原燃の目でもそうだし、支援してる人の目でも大丈夫ということですか。
0:18:10	はい。日本原燃オガセです東側地盤についてはおっしゃる通りです。
0:18:16	はい、規制庁管理ですなんかそうだとしたら、そう書けばいいのになんていう感じがするし、
0:18:22	何か変に限定をかけてて、ここだけ大事なんですっていうんだったら、大事なところだけ耐震建物つつう 8 でやればいいし、結局何のためにこの 6ヶ所やってるのかっていうところもう何か定まってないとりあえずやってみましたっていうふうになん、
0:18:40	話を聞いている限りでは、思ってるんで、そもそもここ何ヶ所やんなきゃいけないのか、それはそもそもどういう目的を達成するためにみたいなのところから、ちゃんと認識がお我々と合わせていかないと、
0:18:55	何かいちいちこんな話になっちゃうんだなって。
0:18:58	やはり、まず 08 とかその検討のロジックっていう意味でも、気をつけてもらいたいしあとこういう状況紹介っていうところでもう、まず全体どうなのかっていうところを押さえた上で各論という形で、
0:19:13	記載をしていかないと、いつも他どうなのって思っちゃうのでそんなちょっと気をつけてもらえんと思います。
0:19:20	前の方でございます。失礼いたしました。確かに、全体にですねどういう位置付けで全体がどうやって、今の進捗はそのうちの増であると。
0:19:30	いうことがちょっとわかるように、こういうところでも表現すべきだと、いうことがちょっとできておりませんでした失礼いたしました。項目をつけたり、
0:19:38	以上でございます。
0:19:40	はい。いいですか、ちょっと規制庁ハバサキですちょっと中身の話なんですけど、資料がないんで、空中戦にならないようにしますけれども、
0:19:51	大垣さんにお聞きしたいんですが、先ほど大橋さんが言われようとしてたことがちょっと気になります。今、6ヶ所の六つの組み合わせの伝達関数で、その度、フィッティングを見みながら、同定かけますと、
0:20:08	で、同定するのは今回ですと地盤の減衰定数なんですけれども、そのときに、
0:20:16	GL-125 分のマイナス 18 に対しては、何らかの重みをつけてますのか、重みをつけてますとかですね、全くやそういう話ではなくて、

0:20:28	ただ、結果的に、125 よりも、125 分の 118 を、は、岩盤部分ということでは重要としますけれども、解析、同定上の
0:20:41	検討では、全くそこはフラットに扱ってますってということなのか、そこら辺の説明がですね先ほどのカミデの話にも通じるんですけども、なんでこの 125 分の 18 を、徳田Cになるの。
0:20:57	或いは徳田しなくていいのっていう話もありますねこれ -200 からの伝達関数に意味を持たせるよってということもある意味、技術的には議論の余地があると思ってますので、
0:21:11	そのあたり、今現状としてどうやって同定をして、伝達関数のフィッティングに関して主ミイなり、評価をしようとしているのか。
0:21:22	ちょっと資料がない中でですけども、口頭ベースで可能な限り説明いただけますでしょうか。
0:21:31	一本原燃のオガセでございますすみません私の説明に誤解があったようで恐縮でした。-128 分の 18 を徳田したというところで重みがつけているのかつけてないのかという話については、今回は重みをつけていません六つの深さ間についてフラットに何ですかね同じ重さに同定かけているということになってございます。
0:21:51	なんで地盤の上から下まで全体を、同時にフラットな条件で同定かけているということになりますこれはまず事実関係としてあります。今回この資料の中で 125 分の -18 というところ徳田市でわざわざ書いてしまったところというのが、
0:22:06	資料もない中で恐縮なんですけれども、東側地盤の伝達関数の合い具合というのは前回のご提出の資料で出しているところなんです、そのうちの深さ間のうち、この 125 分の 18 のところで、この特定周期での合いが悪いという課題があったというところが、はい。
0:22:22	前回までの同定結果での宿題といいますか、何ていうんすかね課題として残ったところでしたので、そこを何かこううまく説明する地盤の再同定をかけようという意味で、この合っていないところがどこでしたかというところで深さ感のところを徳田して書いた次第でございました。以上です。
0:22:39	はい既設ハバサキです今の大賀さんの説明は理解しましたが、
0:22:45	これやはり耐震 0 アノ建物 08 の資料を見ながら、やはりお互い認識を確認し合った方がいいと思いますんで今のお話ですとあたかも GL-125 分の 18、
0:22:59	の特性が、例えば、目的関数に当てないって言われてますけども、マイナス 200 分の 18 も同様の傾向であってないとかですね。

0:23:09	或いは、-200分の-2メーターはじゃどうなんですかみたいな話が、こちらとしては確認。
0:23:17	すべきと思っておりますんで、ちょっと今後やはり具体的な内容については、08を見ながら、確認したいと思っております。
0:23:25	ちょっと先ほどの125分の18の電卓単数の意味合いも含めてですね、現状の資料ですとなかなかそこら辺もわかりにくいところあるので、
0:23:40	今後ですね説明の準備の方お願いしたいと思っております。よろしいですか。
0:23:46	はい。案件の方でございました。おっしゃる通りですねこの結果のご説明の際にはもちろん、何をに着目してどうやったのかと。
0:23:58	いうことがちょっとわかるような、ちゃんと説明をとということが必要だと思いますので対応して参りたいというふうに思います。以上でございます。すみません六ヶ所がわかればいいのか補足ありますか。
0:24:14	はい。日本原燃はサノ08側のところで、見ながらご説明できるように準備しております。以上です。はい、木崎です。1点だけすみません今回西側に関しては再度という形でトライして、
0:24:27	しますということなんですけども、具体的にす。
0:24:31	どんな変数を、或いはどういう所作を変えることによって再同定をしようとするのかとかですね、そこら辺の情報もですね非常に重要になってきますんで、今後説明の方お願いしたいと思っております。よろしいですか。
0:24:47	はい。日本原燃のオガセでございますはい。今、いろいろと取り組んでいる状況という意味では、ご説明は可能です。はい。
0:24:56	はい、北崎です富沢さんすみません途中を挙げておりました、
0:25:03	はい。
0:25:05	とはいえ、私、規制庁カミデですけど私から、
0:25:08	それ以上今言うことないかな。
0:25:12	東西、西に関しては08でも、まだですっていう感じで、
0:25:19	資料提示を受けてからその重みづけなり、フラットになりっていうのはまだ次の時にそういう話でも、当然ないと困りますよっていうことだと思うので認識して対応してもらえれば良いと思うし、
0:25:37	中央の方も、そういうところまでは説明がまだきちっとされていなくてただ結果として、こんなもんです。うんっていうだけですから
0:25:48	なぜこういう検討をしてるのかなぜこれでいいのか、あとはデータのどういふところを見て判断したのかっていうのはちゃんとしてくださいねってのは会合でもお伝えしたところですから引き続き、
0:26:01	ああいう対応とか認識してもらえればと思いますちょっと今回の資料は

0:26:06	何か変に徳田していける。
0:26:09	うん。という感じがしました。はい。私からは以上です。
0:26:15	はい。既設浜崎です。
0:26:17	今もお話がちょっと出ましたけれども、中央に関しては、従来の結果ということで説明があるんですけども、なぜ中央と東西が違ってきているのかっていうところもある、説明のポイントとってますので、
0:26:33	先ほど東西について詳細に説明してくださいという話は、企業との比較も含めてですね、説明をしてもらいたいと思ってます。
0:26:43	緒方さんそれよろしいでしょうか。
0:26:47	はい、原燃のオガセでございます。かしこまりました。はい、そのようにいたします。
0:26:53	神ノモトでございます。すいませんちょっと私だけがわかってない。すいません六ヶ所からも突っ込んでいただきたいんですけども、えっとですね、今ウツミですねやっぱりきちんと伝達関数を見ながら同定かけて行っていて、投資名称に移行してくと。
0:27:10	こういう流れだとは思ってるんですけども、ユーザーにやっぱりちょっと合いが悪いよねという状況の報告はさせていただいたところでございます。ただこのそれぞれ今日もですね、西もヒガシも、
0:27:22	前ちょっと合いが悪かったのを、ここをこう変えてこうしましたとかそういうふうなここ時系列を打っていくような形ではなくて、
0:27:32	やはりさ、同定をこういう形でかけて、こういうふうな再現性のよいものが置き換えられましたという、
0:27:42	やっぱり結果形でちょっと素直にご説明差し上げるののかなっていう印象を持ってたんすけどそこは認識は同じですかはい規制庁ハバサキです
0:27:52	最終的に今、言いますか基本的にはそのスタンスでいいと思うんですけども。はい。ご存知のように、同定ってある意味ブラックボックスなわけなんで。はい。ある意味我々としては、結果を見て、
0:28:04	合ってやってない。うん。で判断してくださいって言われると。うん。いやそのための条件じゃ。うん。今回中央と当然変えるんなら、なぜお帰ったことによって今回良くなったのかとかですね。
0:28:17	そういったところを、本当に正しいことをやられてるのかどうかっていうのを確認する必要があると認識してますので、
0:28:24	主なといいますかですね。
0:28:27	ちっちゃいところから、細かい話までは必要ないんですけど、ある程度やはりその結果に影響し得るような因子については、

0:28:37	きちんと説明をしてもらいたいというふうに思ってます。日本原燃野元で ございます。はい。わかりました。別に系列がどうか、作業ステップが どうということではなくて、
0:28:50	中央と調査について、何か条件変えることで、その活力の下げがうまく いくということであれば、何か得ることによってどういう物理現象をあれ です、衛藤を模擬できることになったのかと。
0:29:03	多様なところの部分も含めてその差分については、説明が必要である というご指摘だと、いうふうに、すみません私あまりちょっととくださいつ てあれなんですけれども。
0:29:15	理解いたしました。すみません六ヶ所だから私の今のちょっと理解に誤 解があれば、出して欲しいですし、何か補足あればお願いいたします。
0:29:25	はい。日本原燃のオガセです今の会話でよくわかりました大体何か区 間のイメージつきました今西側東側についてははいわかるその伝達関数 への整合性の改善みたいなところに取り組んでいるんですが、その時 にハバサキさんがご懸念されているようにある程度何かしらの
0:29:42	例えば初期条件に転送されたりとかっていうところも視野に入れてやっ ているところです。そういったところが、中央の時はそれはなかったけど 西側の時にはそれをやったなぜならばっていうようなところとかそういっ たところをちゃんとご説明してあげる方が、必要だというふうに認識しま したので、先ほど浜崎さんおっしゃったように中央と、
0:29:58	西東出の条件の違いみたいなのところも、きちんと理由付で踏まえた記載 のほうをちょっと、今後、オオハシの方には書いていくべきだというふう に認識をしました。以上です。
0:30:09	はい規制庁浜崎です。最後の方お願いします。
0:30:13	今のような観点に審査をするというのはですね、今回、設工認で地盤モ デルを今回、原燃のやってるような手法で設定するっていうのは、ある 意味、新規性のある話だと思ってます。
0:30:27	ので、従前もう超えてナベタモード、どんな事業者もやってる方法ならば そこまで中身を、に追加追求する必要はないと思ってますけれども、
0:30:38	やはり新たなチャレンジングなトライアルというふうに思いますのです ね、きちんとそこは確認したいと思ってます。
0:30:46	あとですね中央地盤に関しても、
0:30:53	従前も説明をいただいていますけれども、
0:30:56	例えば、シミュレーション結果についても、例えば 9 電の、選考の結果、 これは許可の、地盤モデルですけども、

0:31:07	それと比較してもですね、ちょっとここは本当に
0:31:13	行っていると評価しているものかどうかとかですね、いろいろこれから詰める内容があると思ってますので、もう中央地盤を確認済みっていうのではなくて、
0:31:26	今後ですね特に、
0:31:29	シミュレーションのところですね、も含めて、説明を受けて、こちらからの確認をさせていただきたいと思ってますので、そちらの方も準備をお願いしたいと思います。
0:31:40	よろしいでしょうか。
0:31:45	オガセかしこまりました。そういう準備をしております。以上です。出野です。古閑さんの今のハバサキさんのご指摘で具体的なイメージが湧きましたか。私あんまりわかってなかったんでもしあれだったら後で教えていただけたらいいんですけど。
0:32:01	9電さんのモデルと比較して、ちょっとご懸念があるというふうにおっしゃってるようには思えたんですけども、ある程度見当がついて何をご説明したらいいか今検討ついてますか。
0:32:16	はい。日本原燃のオガセでございます。いわゆるシミュレーションのところでの大小関係みたいなどころのご説明について、
0:32:24	ちょっと今後ニシカワヒガシが出てからというところもありますが、超えているところあとはとんとんになっていると一部ちょっと上回ってしまっているとかそういったところがどういうふうに、
0:32:35	我々としてその同定されたものに対して扱うかっていうところをはい、何て言うんすかね。確認すべきだというふうに確認というかご説明すべきだというふうに思っております。
0:32:45	ありがとうございます。今小野瀬が説明しましたようなまず見たときに、シミュレーションとの比較ということで、我々の分析結果ウノを示しするというので、今おっしゃっていただいたご出身が入っておりますでしょうか。はい。
0:33:00	規制庁浜崎です大淵さんが今言われた内容で、多分大町さん理解されてると思います。
0:33:06	これも空中戦資料を見ながらのほうがいいんですけども、バイリニアとリニアの伝達関数の比較、ごめんなさい、シミュレーション結果の比較を見ると、
0:33:17	観測記録食うが上回っている地震。
0:33:22	今、

0:33:23	見られるということありますので、
0:33:28	その傾向がですね、あまり
0:33:33	下回る衛藤なんだし、投資シミュレーション結果の方が下回っている。
0:33:41	わけですので、本当にこれでいいんだろうか。で、周波数、一定の結果は、
0:33:48	概ねそれを上回っている観測記録をその包絡するような、或いは、
0:33:54	かなり大きな値になってる。で、これは取水、減衰の評価法によつての違いっていうのわかるんですけども、
0:34:01	その梅林にあとりニアの特性が、それをもって、資料の中には概ね一致してるっていうのもう、
0:34:11	1 から視されてるわけなんでですね、そこをしっかりと分析しないと、結果的に周波数一定だからフォローしてるからいいんですよおしまいで、やはり、
0:34:21	十分な分析になってないというふうに思ってますので、地震ごとなのか、その解析の何らかのプロセスの
0:34:31	違いなのかですね、そこら辺もしっかりと詰めていきたいと思ってますので、対応してくださいという趣旨です。
0:34:39	県の方でございますはい。は私も理解いたしましたすみませんありがとうございます。
0:34:47	はい規制庁オザキですということもあってですね耐震 0G に関しては、今ゲンタツ関数のところだけでいろいろ口頭でやりとりあり、
0:34:57	していただきましたけれども、追加ですね確認事項というものが、幾つもありますんでですねそれを、
0:35:04	ヒアリングをマツノか或いは
0:35:11	ヒアリングをもってですねやはり確認していきたいと思ってますので、対応の方お願いしたいと思います。
0:35:19	安全ノモトでございます。はい。本データがですね、取りそろえ次第、できるだけ早く資料をご提示してご確認いただきたいと、我々も思っておりますのでよろしくお願いいたします。
0:35:32	はい。木内ハバサキです。あと二つありまして、まず地震は干渉法の話ですけれども、
0:35:41	これに関しては先ほど伝達関数のような地盤モデルは使わないということですが、
0:35:54	現時点ですね、なぜうまくいってないのかその理由については、

0:36:00	何か物理的な理由っていうものは、見通しっていうのは、られているんでしょうか。
0:36:07	全然駄目でございます。六ヶ所だから、今ちょっとお答えできる範疇で、解せつういただけますか。
0:36:14	お願いします。
0:36:15	はい。日本原燃のオガセでございます。現時点におけるうまくいってない考察というようなところでございますけれども、この地震は干渉法というのはですねその地盤の中で、
0:36:28	岩盤のところから上に上がってきて地表で全反射してんで、下に帰っていくというこの上、上、下から上にいって、それから最後戻っていくっていうパスの中での、
0:36:39	何ていうんすかね。入社分の反射分の山の高さを減衰定数と見立ててやるというところでございます。というところで、こういった地表の記録というものがちゃんと精度よく取れていないとなかなかできないその全反射するところが地表だというところで、
0:36:55	地表の観測記録を使わざるをえないというところなんでございますけれども、今の地震観測を行っている地点というのが西側東側というところが、いわゆる表層の方には結構邪魔みたいなのところがあったりして、何ていうんすかね表層がこう綺麗になっている地盤ではないというようなところもしくは何かしらのノイズが乗っているというような状況
0:37:15	がどうやら見てとれるところでございます。今の地震観測記録の使ったやつ分析みたいなのところをやっているんですけども、普通でしたら何て言うんすかね地震は増幅ないし高減衰していくときというのは、
0:37:28	波の形というものが、今回の地震計つけてるのが-200-125A-18、あと地表というふうの下から行くわけなんですけれども、その形を保持大体こう保持したままで地震は系の
0:37:41	位相みたいなものを保持したままで上に上がってきてだけでも地震はの大きさがこう大きくなったりちっちゃくなったりっていうふうなところで上がってくるのが普通だったんですけども、ちょっと中央に比べて西側東側というのが、その単純にこうずっとこう増幅で上がってくるのではなくて、波の形自体が地表に来るといきなり崩れてしまうというようなそういうような影響が見、
0:38:01	状況が見てとれました。そういうような観測記録を使った場合には、今申し上げました地震干渉法という方法が、地表の記録を反射境界として

	こう定義しなきゃいけない以上その地表の記録がちょっとやっぱりそういう形が崩れていると。
0:38:15	どうしても何ていうんすかね統計的な情報として、各周期の波がどれぐらい減衰かかっているかというようなところが出てこないというようなちょっとそういう状況が見て原因として挙げられたところでございます。そういう意味で中央ではこうだけ西側東側こうだからちょっとうまくいかないっていうような、
0:38:31	先ほどの伝達関数の時と同じような感じですね、中央との比較という形で、ちょっとうまくないですねというようなところのご説明が可能だというふうに考えております。以上です。
0:38:40	はい。規制庁浜崎です。
0:38:43	今のご説明だと、GL-2メートル地表位置での観測が東西の場合は、表層の物性値が必ずしも一様でないために、
0:38:55	かなりノイズというか、本来、期待しているような形がとれてないからというふうに理解しましたが、
0:39:03	まずその理解でよろしいですか。
0:39:06	はい、原燃のオガセでございますその認識で合っておりますただそのアビル理由が地盤が複雑なのはタバタ何かしら変な形状ノイズが乗っているのかその辺は今先ほどの資料の方でも言っておりましたように微動なんかも見た上で、
0:39:19	何ていうんすかね特定というかそういったことができればなというふうに考えているところです。以上です。
0:39:25	はい。規制庁浜崎です。美女即答の結果も含めて、その辺りは考察している、考察するというので理解はしましたが、
0:39:36	例えば、ちなみにですね例えばー
0:39:42	10L-200t。
0:39:44	ごめんなさい、125 か。
0:39:47	干渉法 120 ゴトウー18 円での形での、
0:39:54	処理によつての干渉法を使った減衰の評価っていうことは、
0:40:00	有り得ないんですか。
0:40:03	はい。日本原燃のオガセでございます。今ハバサキさんがおっしゃったアイディアは私も思いましてそういった、じゃあその表層がよくないような記録になつてらんだつたら途中の、

0:40:13	いわゆる波が綺麗に上がっていったところを境界とした監査法干渉法はできないかというところは、社外の言う地権者の方々実際解析やってらっしゃる方々とかにも、あと中電さんでもやってたような方々ですね。
0:40:26	にもちよっと聞いてみたところだったんですけれども、やっぱりこの全反射するような本当に、何つうんすかね、上端部、
0:40:33	イシカワほどいい。
0:40:38	六ヶ所がちょっと今聞いてます。あ、あ、すいません今ちよっとなんかマイクが接続切れたみたいです。社外の言う地権者の方にも聞いたんですけれども、
0:40:49	表層の観測記録をベースにしないとできないと地中の観測記録をベースにしてしまいますと、どうしてもその地中の観測記録というのは表層の倒伏反射した結果というものが情報として入ってしまっているので、それを除去するというのは非常に難しいところになるので、やっぱりこの地表の記録がうまくいってるか。
0:41:07	うまく解析できるかどうかの分かれ道になってしまうというのが、有識者の見解でございました。以上です。
0:41:15	はい規制庁浜崎です。いずれ、
0:41:18	今の話も含めてですね説明をしてもらいたいと思います。勧奨に関してはこれも、
0:41:28	伝達関数との減衰、最終的な同定の、減衰の比較とかですね、いろいろまたこちらとして確認する、したいことがありますので、
0:41:39	アノ欠カーを今後説明してもらいたいと思います。
0:41:42	私から規制庁浜崎です私から最後なんですけど、冒頭の宇都さんからご説明ありました表層についてですけれども、
0:41:54	ちょっとまだ、今現状、何しているという、表層のですね別のところ、
0:42:01	いうことで、
0:42:03	それは今今日初めてお聞きしたように思うんですが、そういう理解でいいですか。はい、おっしゃる通りでございます。等ですね、兵頭に関してはもともと、
0:42:14	今週中にですね、お話を我々としてもまとめた形で、一度ご提議してヒアリングいただきたいというふうに先週金曜日の段階まで思っておりました。
0:42:27	ですね先週までですね我々の中でいろいろいただきましたヒアリングでのですね議論なんかも踏まえた修正案。

0:42:39	顔を我々の中でも検討しながらですね作ってですね、社内のご支援いただいている方々に、政庁金曜日実にご相談さしあげて、我々ちょっと改めるべきところというのをちょっと大手とこうとしたんですけども、
0:42:57	やはりちょっとまだですね、かなり不足があると、いうご指摘もいただいて、やはりちょっとこれまでのですね、データをちょっとひざ詰め突き合わせて、我々の考え方というものを、
0:43:12	ちゃんと組み立てた方がいいよねというようなアドバイスもいただいたところでもありまして、一応またですね今週ちょっと六ヶ所もう一度計画名をしようと思っておりますというような状況でございますちょっと
0:43:25	どういうスケジュールであと、そしたら、まとめていったらいいとか、ひょっとしたら我々何か御説明のですねやっぱロジックをちょっと組み立て直さなきゃいけないのかどうかとか、
0:43:38	そんなところも合わせてですねやっぱりもうせっかく外の目に入っているんで、ちょっとよくご相談して対応して参りたいと、いうふうなところを積極ちょっと金曜日に話したところでございますということで、
0:43:51	ちょっといきなりですね、前村もなしに供試資料でご提示することになって恐縮なんですけれども、ちょっとそういう形でちょっと進めさせていただきたいというのを今日御説明だけあったと。
0:44:01	いう状況でございます。以上でございます。はい。規制庁浜崎です9月の会合でも、表層遠い看板の減衰ということがまだ完全に収束しないというところで、そのうちの一つということで、我々も認識してますので、
0:44:18	今のお話で、思って、表層の今までの原理の主張をいくつかSかどうか、まだわかんないんですけども、
0:44:28	そういう検討を現在しているということで理解しましたので、
0:44:33	これも
0:44:38	表層に関してもですねそういうことで我々もかなり注目しているところですので、ある段階ですねきちとした説明をしてもらいたいと思っておりますので、
0:44:50	はい。対応の方お願いします。はい。神野でございます承知いたしましたお待たせすることになったのは申し訳ありません。はい、ありがとうございます。2年目の検討。ちょっと補足させていただきますとガラガラポンするという、いただいたコメント、要はデータ答えありきじゃなくて、データを眺めて、

0:45:07	そこまでちゃんと整理してこいといったところを我々何もした通りだったんですけどもやっぱ社内のみ、有識者会議と、まだそこはないけど、もう少しデータをちゃんと気にして、
0:45:17	整理し直してロジックを作って、はい。説明すべきという、もう根本的なところを言われているのでちょっと我々また、整理を、中身とかいうのをやっているというところでございます。以上です。
0:45:29	はい。規制庁綿貫です。決得さんのお話、理解しましたので、
0:45:34	そういうプロセスもある意味、
0:45:39	もう結果オーライでしたという結果報告ではなくてですね、プロセスも含めて、説明してもらえれば、我々としての理解が進むと思っておりますので、よろしくお願いします。
0:45:49	神野でございます。はい、ありがとうございます。承知いたしました。
0:45:54	規制庁、小貫です。
0:45:57	藤村長のハバサキからは、大体内容について確認は以上なんですけれども、カミデさんの方で追加でありますでしょうか。
0:46:07	小峰です。
0:46:10	特段追加はないので、
0:46:12	あれですかね、言ったん。
0:46:14	口頭でいいので振り返ってもらって、休憩挟んでっていうぐらい。
0:46:23	はい。
0:46:25	わかりました。そうしましたらですね、振り返り簡単にさせていただきます。まずその伝達関数の
0:46:35	方でございますけれども、選択関数と地震発刊情報はこれは独立の検討であるので、
0:46:44	からご提示をということで、江藤できるだけですね、データ取りまとめり次第、速やかにご説明すると、ということだと、いうふうに理解してございます。
0:46:58	で、ですね、それから西側、
0:47:02	もう東側もなんですけれども、このですね旧〇との比較において、この検討において、何を、造成においてと書いているのか、この差分についても、
0:47:15	きちんとわかるような変えているのでは書いているかも書いてないから書いていないと、その差分についてあるならばきちんとこの説明をすることと、いうことをいただいたのがあと2点目でございます。

0:47:27	3点目でございますけれども、えーつとですね、この大地震破壊情報による検討ですね。
0:47:37	こちらにつきましても、この
0:47:44	検討のプロセスですね、このすいません、どう言えばいいかな。
0:47:51	拒否。
0:47:55	お話だから、
0:47:59	はい。
0:48:02	元元ですけど、ごめんなさい、海田しましょうか。はい。
0:48:08	すいません。はい。ちょっと調べてみていただいていたいです。
0:48:13	はい。本日言われたところの地震は干渉法のところにつきましては、地震観測記録の分析に基づいて、用いている観測記録の特徴を踏まえて、何て言うんすかねあの志賀干渉法の
0:48:27	欠カーの制度等に関する考察についてきちんと記載することと、いうようなところだというふうに認識しております。
0:48:35	すいません。失礼。
0:48:39	等ですね表層につきましてはこのちょっとプロセス数も含めてき説明することが大事であるということで今リスクをお願いしておりますけれどもその中で我々、
0:48:51	大きくは以上であるというふうに思っております。以上でございます。
0:48:55	はい、既設浜崎です。あとシミュレーションですね、伝達関数
0:49:01	から同定した結果を用いたシミュレーションについても、現状0キーの考察といいますか分析か、考察じゃなくて、分析ですね。
0:49:10	が、まだ不十分というふうに考えてますので、単に結果を述べるのではなくて、きちんと分析をしてもらって、
0:49:21	言いたいというところです。先ほど途中まで言いましたけれども、
0:49:27	バイリニアと、リニアでは、観測記録を下回ってるけども、
0:49:33	周波数一定では、結果的に上回っている、だからいいというような、今、08から読み取れますけれども、きちんとそこは違い等も含めてですね。
0:49:44	分析を述べてもらいたいと、いうことです。
0:49:47	よろしいでしょうか。はい。神野です。失礼いたしましたシミュレーションの解説に氏名照会についても、きちんと説明すること。はい。はい。
0:49:59	はい。本町ハバサキですけども、
0:50:02	カミデですけど、振り返りで、最初に
0:50:12	伝達関数と地震は勘定を別々に出てきたものからと言ってましたけど、

0:50:19	本当に何かできたものから資料をまとめてみたいなのが効率的にできるような体制にそちらになってますか。
0:50:30	榎本でございます。まさに核心について話をいただいたと思っております、同じ舞台上で全部やっておりますので、ある意味ですねこの
0:50:41	β 関数について、
0:50:43	伝達関数の検討をやっている中でそれに手を取られるとなかなかカードの片ヤノ方がですね手が見つからないというような実態がいろいろあったりして、そのために全体のシナリオのですね、
0:50:57	組み替えとかそういうところがことになってるといのはございますけれども、
0:51:01	ちょっとかといってですね、例えばこの伝達関数の検討がどんどんやっぱり同定がやっぱ悪いよね悪いよねというふうに関係が倒れていくとするとそれに引っ張られて何もちょっと
0:51:14	ご説明しないというのもちょっと進め方としていかがなものかというふうに思いますので、ちょっと今のところですね全部まとめて、9月29日ということで、を設定させていただいております。
0:51:26	これがまたちょっとずれ込むということになります。ちょっとまた、分けてですね大事にするということも我々検討しなきゃいけないのかなというふうに思っておりますそこはちょっと
0:51:35	効率的なやり方と思うところをご提案させていただきたいと思うので、そのところはちょっと相談に乗っていただければというふうに思うところでございます。以上でございます。
0:51:48	はい、規制庁カミデその進め方、こういう、ここ開けにしましょうとかここはまとめましょうみたいな話は、進め方のヒアリングで、
0:51:58	相談的にしてもらえれば良いと思うんですけど。
0:52:04	まずそちらのマンパワー的なところは
0:52:08	早くやりたいんだったら、頑張った方がいいんじゃないかなって感じはしますのでそちらの体制の話ですけどちょっと気づいたというか
0:52:20	その拡充に全く手をつけずに頑張りますみたいなふうに聞こえたので、何かもっと全体のマネジメントでうまくできないのかなと思ったのが1点です。
0:52:32	あともう1点ですね、
0:52:35	西気賀市と中央の差分を説明しますと、根本さん言われましたけど、

0:52:43	イメージとしては、ちゃんとプロセスを、てか何だろー検討プロセスっていうのはニシノヒガシも、中を無償で書き始めは全部一緒に書くわけですよ。ええ。
0:52:56	ほかに差分なりプロセスにニシダヒガシは中央ではやっていなかった検討を入れたっていうのであれば途中で枝分かれなりちなみに、このパートで西はこんなことやりました。私はこんなことやりましたぐらいの枝分かれだとイメージしてるんです。何か最初から
0:53:14	中央はニシウラヒガシみたいな感じで書かれると一緒にしょっていう話をしなきゃいけないと思ったのでお伝えしてますけど理解いただけました。
0:53:26	榎本でございます。はい。おっしゃ
0:53:28	ダイチャンアノ同じ。
0:53:30	気はしております、
0:53:32	差が出るとすればデータに対してですねこの同定かける時の、このプロセスとして、こういうデータに着目して、こういう物理的な、
0:53:46	特性があるから西はこうした人たちはこうしたと言ったようなそういうふうな分析が別々のものがついていくといったような意味になるかなと思います。
0:53:55	実は一緒ね、その分析のですね中身がデータによって変わってくるみたいなそんな社員の出方をするんじゃないかなというふうには思っております。以上でございます。
0:54:07	はい。規制庁神戸です。そんなにずれてなさそう。はい、わかりました私の方からは違うんです。
0:54:17	山口です。それでは耐震ほかよろしければ、
0:54:22	当第ヒアリングちょっと休憩を挟んで 40 分再開したいと思いますので一旦録音を手島
0:00:00	ここ再開しましたと規制庁ヤマグチですと、フルヤのヒアリングを再開しますが一応出席者の追加等があったので、と規制庁側の出席者を改めて紹介します。
0:00:12	本庁会議室からコサクフジワラ。
0:00:16	タジリ。
0:00:17	ハバサキオノ。
0:00:19	その他WEBから、
0:00:21	下オオハシカミデ。
0:00:25	あと会議室からヤマグチです。

0:00:27	あと現側出席者に変更ないと思うので、まずこの進め方について原因があったら説明をお願いします。
0:00:38	はい、泉西尾でございます。本日付になってしまいました今後の進め方、提出させていただいた資料に基づきまして、ポイントだけ説明をさせていただきます。
0:00:49	まず用水量 2 の本体側の進め方ですが、一部下線で日付を修正を先週からさせていただいております。
0:01:01	今日通常 2 本分を含めた修正、12 日提出としての 13 日につなげておきます。
0:01:09	修正作業が進捗が思わしくないというのが状況ではございますが
0:01:16	現在、前回のやりとりですね主なポイントとしては、2.1 の入口、最初とか、廃棄物管理を含めた設計説明分類とか説明グループの説明の前段階でちゃんと
0:01:28	整理をして全体の体系大南なりを整理していくというところがポイントだと思ってるんですが、そこまでの修正を今終わってます。あと
0:01:38	車両忙しいとかの個別のところ、ポイントをちゃんと書き下していくということ、留意事項とポイントのまとめの全体の更新がぐちゃぐちゃになってたので、それを整理をして、
0:01:50	押さえるべきもの、方針が何か、留意事項としての細かいポイントとして何を押さえるべきかってところを、書き分けるという作業が残っている状況ですので、13 日にある提出できると思っています。はい。
0:02:03	ヒアリングは今 15 日と、21 日にシライスライドしましたけども、議会に向けてということでなぜこの 2 回に上げたのかっていうのは 13 時で出して、実績に減ってしまって 2 日しかない状況で 15 日は、
0:02:20	資料として反映する作業をしながら、全体の枠組みも整理をさせていただいてますが大きな方向性がないかどうかってところを 15 日に確認をさせていただきつつ、
0:02:33	根本的に資料が足りないとかですね中身が不足してる部分があれば、資料の修正が必要だと思いますがそういう部分がないのであれば、
0:02:40	反映事項を 25 日をご説明させていただいて細かいポイントは 21 日にやらせていただければということで、2 回の 2 回分けということでさせていただきます。
0:02:53	はい。
0:02:55	多分、
0:02:58	説明、

0:02:59	説明をいただいた方がいいと思います。
0:03:02	アプリは、竜巻の、
0:03:05	法人ということで、
0:03:07	前回9月の5日はヒアリングさせていただいて、
0:03:12	振り返りの衛藤。
0:03:16	連動すると、ということで、9月7日にといった指導させていただきまして、このダイゴが終わり次第、終わりましたらですね、個別の対応方針についてまたご説明差し上げると。
0:03:28	いう、
0:03:30	と考えております。
0:03:33	こちらは7月でまたありますけれども、資料については、一旦9月14に出せないかなということで今飛んでいるところでは、
0:03:42	こちらについて、
0:03:45	対応方針中身でしたとなりますけれども、最終的にはですね、設置制度で具体的の対策設備共通の資料、
0:03:54	変換していくということで、
0:03:58	後の
0:04:01	横に書いてあるようです。
0:04:05	今回の前オオハシ先生終わりましたら、
0:04:07	資料2、
0:04:18	はい。
0:04:19	日本原燃の高井でございます(3)番、溢水に係る設計方針ということで、一つ目ですが9月8日にですね、溢水に係る必要な対応方針をまとめて提出させて、
0:04:30	10、9月14日にヒアリングでご説明いただき、
0:04:35	2ポツ目ですが、その内容を踏まえましてですね、土肥水道の要求事項としての公共性継続解析の評価ということで共通12の資料、234の関連。
0:04:48	というものも、整理をした内容を加えてですね竜巻防護対策設備とも併せてですが、SABの整理、資料2関連というところ、9月下旬頃にヒアリングで、
0:05:00	ご説明したいというふうに考えております。
0:05:03	10月にあたってはですね、事前にご説明する事項等の説明を行った上で、10月末、資料提出、計画してますが、設計分類の内の事象溢水対策設備等、

0:05:16	防護対象設備に関する資料というところを説明していきたいなというふうに考えております。
0:05:22	奥さん以上でございます。
0:05:27	よろしくでババ2歩通の、大変関係、入力地震動の策定の進め方の、
0:05:34	御説明も、
0:05:36	すべてデータでよろしい。
0:05:42	前半私参加しなかったんですけど、
0:05:45	前半では、
0:05:46	向こうもまだ話してなかった。
0:05:48	ちょっと大変タテホデカッチの中身の話をしてます。はい。はい。
0:05:54	では、日本のご説明でございます。
0:05:58	当面の検討事項ということで最初に書いてございますけども前回ですね、ここにちょっと項目だ形といいますか、検討のですねヘッドラインだとちょっとあったんですけども、今回、
0:06:11	検討すべき
0:06:15	ファイリストにあったようなものを、この中に入れ込んで、検討項目としてのリストにAといたしました。それぞれがいつまでにと。
0:06:26	言ったようなところを書くような形で、衛藤まとめてございますんでそれ全体ですね恒設いたしましたは両括弧1が絶対シナリオ全般以降、
0:06:38	両括弧2が岩盤物性上加古さんが頑張って研究所(4)岩盤減衰で評価クボが競走沸石といったような形の整理いたしましたそれぞれの中です、
0:06:50	検討を進めなくてはならない項目を、その子番号として設定するという形で資料としてはまとめさせていただきました。
0:06:59	全体のスケジュールですけれども、ちょっと前半で一部お話は差し上げたんですが、今メインでちょっと検討を進めなくてはいけない岩盤減衰量かというところがございますけども、
0:07:12	こちらがですね、東側一番が贈呈に9月15日まで、1月が当然に9月22日まででそれに引き続き、
0:07:26	シミュレーションといったようなところをやろうとするようなところになってございましてちょっと従前よりですね2週間遅れの江藤西が一番なんかは状況になってございます。
0:07:39	で、次は会社法による減衰検討の方もこれ9月20日までの検討ということになっておりましてこれもちょっと2週間遅れになっていると。

0:07:48	いうところを踏まえましてこれ、えっとですねもともと9月15日披露のご提出、
0:07:54	言ったようなところになってきたところが、これですね、すいません9月29日のご提出という形でリスケさせていただいてる状況でございます。
0:08:04	表層物心つきまして、
0:08:07	こちら9月15日のご提出ということで、を目指しておったんですけれども少し大賀専門家の方に、8北崎桂子シナリオですね、これ、
0:08:20	ちょっと今出させていただいてるところなんですけれども、ちょっと先週ですね、その専門家の方にご覧いただいたところをもう少しですね、ちゃんと
0:08:30	最初のそのデータからですね、展開して、転換するの執行というのがやはり弱いということでご指摘いただいてちょっとですねまたこういうちょっと明日膝詰めやろうかと。
0:08:44	いうところがございまして、そこ中でのご提示というのはちょっと絶望的になったかなというところでございます。ということ踏まえまして、これにつきましても9月29日のご提示ということで、取り付けさせていただくようなご訂正ご提案をさせていただいてるところでございます。
0:09:01	3ページ目の資料提出とヒアリング予定のところすいません大木でございます。えっとですね、今申し上げたようなところで
0:09:11	拡提出日学部のご提案を書いているんですけども、片括弧2の9月26日ヒアリング表として小令和アノ先ほど申し上げたように資料は提出できておりませんのでこれはすいません、衛藤岸忘れでございます。
0:09:24	で、9月29日に、これですね、表層部線のところ今、9月29日目標と言っておりますけれども、まだその一つ目の結果はどこでご提示できるかということがまだちょっと見えてございません。ですので、
0:09:38	今お約束をしようとしているのはこの平仄性以外のところでございます。29日にご提示しようと考えていると。
0:09:47	で、これにつきまして、そこから1週間経ったところの9月の6日10日あたりで2日間ぐらいいただいて、ヒアリングを申し込ませていただくと。
0:09:57	いったようなスケジュールになるのではないかとということでご提案差し上げたいということでございます。一番下、以上でございます。
0:10:05	規制庁、山口です。
0:10:13	スケジュールを一番最後に出てますが、
0:10:17	すいませんまだ管理参事等の結果、パーツが行ったり、SSSのインターフェースの話は聞いておりませんで、

0:10:27	状況的には社内では、カード以下です。15日の金曜日に出そうということで、社内で調整を進めているんですが、
0:10:37	調整してる状況を見る限りおそらく19日、
0:10:41	火曜日になるんじゃないかなと今推測
0:10:47	修正は適宜としてはいるんですけど、
0:10:50	社内のレビューチェックのタイミングを見る限り、一発でクリアできれば15日はいけるっていう感じなので、多分無理だろうなという。
0:11:04	行くと、
0:11:05	15日、
0:11:08	それがかかって19日出せるかなっていうところぐらい。
0:11:12	はい。
0:11:14	あとは、
0:11:17	濃縮の一部補正を15日出している。
0:11:23	はい。あとは、先ほど適用と12年続いてスライドした部分を反映してると。
0:11:29	ですかねあとは耐震関係のものを、
0:11:32	だから26年ないという、そうですその反映漏れも、すいませんあわせて、
0:11:42	はい。
0:11:50	です。
0:11:51	それじゃ、
0:11:54	延長はばらつきございますが、お願いします。
0:12:04	店長の田尻です。
0:12:06	この費用出して話し合ったんですけど、何の費用かっているのを一応確認していきたいんですけど、共通12D、
0:12:15	旧斉木に出すっていうのは採用日。
0:12:18	プラスずつ、10人のどこかで、
0:12:21	共通順13に安野教育事業本部阿藤氏も複数資料1、あと資料2-2は
0:12:31	説明グループ1に係るものの条文の資料に、
0:12:35	あと資料3ですね説明グループ1の分、
0:12:38	設計図めぐりと1369だったです。はい。
0:12:43	補足も今準備をしまして同じ日付で出す分も準備をしてます。ただちよつと、

0:12:53	これもずれるかものが幾つかね。はい。
0:12:56	エンチョー佐治です名前が似たようなやつがちょっと増えてきた家なんか同じ表現してたものが違うような気がするんではっきりしていただきたいのと、
0:13:06	竜巻りわあ。
0:13:07	14 日に出すって言ったのはあれは何。
0:13:17	当間イワサキ 6 月 5 日に 1 回出したもので、
0:13:22	制度し直した、やり方を変えました。
0:13:25	SE の方の整理を、
0:13:29	50%です。
0:13:31	長鳥居です。なんか資料日本いうふうにしたような気持ちは確かですって言ったらこないだのやつの修正版をそのつもりします溢水は、
0:13:42	何を足すかっていうと、
0:13:48	先ほどの話、資料 2、モリアノ。
0:13:52	竜巻とあわせてというふうにした望月水盤というところを 9 月下旬に、
0:13:56	さしていただくとあと、
0:14:00	資料 234 の関連で、溢水、
0:14:04	関係というところを資料としてまとめて出したい。
0:14:09	今日の詐術竜巻のやつにプラスしてたっていうのは、どのようにして、
0:14:17	規制庁たりする資料 2 産業間連携データです。
0:14:21	はい。2 年タカダでございます。
0:14:25	今考えているところでは、水、
0:14:28	防護対象設備等に関して、基本設計方針を軸と置いてですね説明すべき項目を、2 で、
0:14:37	資料 2 と同じものを抽出して、それを資料 3 で説明するのか、4 で説明するのが、UR 構造設計等で説明するのが解析評価。
0:14:46	等で説明するのかその説明内容の住み分けみたいのをご説明した。
0:14:52	それが 9 月下旬、
0:14:53	の予定ということで、継続して、
0:14:56	県庁のタジリです。なので、竜巻も一線を共通中に入る前の前段階の資料です。竜巻を意見出したものを修正版を出します。水はそれプラス、

0:15:07	構造設計と評価の積み上げが結構ややこしいところがあるので、そこについていたりしたような形のマネジメント、事前段階の整理としてこういう考え方ですっていうのを出そうと思ってます。P1 はですね。
0:15:20	人間のおっしゃる通りでございます。
0:15:23	はい。一応、とりあえず何か出てくるかもしれません。
0:15:31	登坂です。今お気づきになったと思うんですけど、
0:15:37	詰め方たこの資料って一体何なんだろうっていうのがよくわからなくてですね、当初そういう話もあって、だらだらと書かずに、1項目
0:15:49	をどんどん足し込んでいくんじゃなく、
0:15:51	再整理していきますと言って再整理されたんですけど。
0:15:55	再整理されて、
0:15:57	また太り始め、だけど内容としてワ一漠とし過ぎていて何を言ってるかわからないと、いうものになってるので、
0:16:07	何だろうなと思って聞いてたんです。今説明にもあった通り、対応方針っていうのを整理をしてあるので、もうそっちでいいんじゃないか。細かいのは、と思うと、
0:16:19	対応方針は、比較的その短期から直帰中期までかなぐらいまで、クリアになるはずなんですよね。まだしきれてないんですけど、
0:16:29	で、そうするとその中間いなり何なりぐらいから先を見据えたっていうことを、こっちの方に書いてあれば、
0:16:39	短期についてわあ、
0:16:42	対応方針で示してある通りとかっていうことで、
0:16:46	ポイントだけ書くのもありだと思いますけど、いうぐらいでいいんじゃないかなっていう気がするんですよ。
0:16:54	で、なので対応方針は都度ヒアリングがあったごとに改定がされていうことで、
0:17:03	日付自体はいろいろとそれぞれのタスクでずれてはくるとは思いますけど、
0:17:10	ヒアリング、進め方のヒアリングにおいてはいつのかっていうのはそれぞれですけど持ち寄ってですね。
0:17:18	認識を合わせるっていうことをやればいいんじゃないかなあ。
0:17:23	いうふうに思いますんで、
0:17:26	またそこは、
0:17:28	整理をしてもらったらいいかと思えますけど。

0:17:32	ないすかね。はい、日本のヨシダでございますはい。これも状況が変わってるものをちゃんと認識して、いろんなものに反映していくという作業ができてないと。
0:17:43	で、おっしゃっていただいたように、喫緊の話は対応方針側で、それぞれみんな
0:17:49	何をしなきゃいけないか、変えて、方針を明確にすること、まだできてないんですけど、そういうことをやっていくので、どちらかというと、前々から言われてる、
0:17:59	この後、どうやってこの共通エリアを中長期的に進めていくんだという段取りだったですね、どういう順番でというのも、だからそういう、こういうのを、
0:18:09	こういう順番でやっていくんだと、というようなビジョンを明確にすることと資金のやった対応方針側でのキーワードなんかを考えておけば
0:18:18	事足りるかなと思いますので、そこは整理をさせていただきます。はい。
0:18:25	はい、伊達です。その際ですね、先ほども少しありましたけど、それぞれの足すくうの関係性、
0:18:33	ていうのはそれぞれの対応方針ではちょっと関連する他救うを明示するようにはなっているんですけど、
0:18:43	なっているんですけどこの場ですね、その連携の状況というのも聞ければいいと思うので、
0:18:49	そういった点是对応方針でも見れますけどこっちの方でもし、明示した方がよければ書いていただいて、
0:18:58	いうことで検討いただければと。
0:19:01	だの具体は、
0:19:04	竜巻の対応方針この後と言われてましたけど、共通 12 の対応方針もその前に出されていて、
0:19:11	記載、
0:19:13	そもそも対応方針どう作っていくのかっていうことも含めてちょっと話をしたいので、先にそれをさせていただいてから、具体の話をしたい。
0:19:22	昆。特に今日
0:19:25	進め方の 1 ページ目のところはそのときに話をした方が、
0:19:30	いいんじゃないかなと思うんで、
0:19:34	もし僕、今の段階で他になければ、
0:19:36	耐震の方に、
0:19:39	一体ですけど耐震は何かありますか。

0:19:45	はい。カミデです。耐震の方は、
0:19:50	一応、
0:19:51	なんていうか今入力地震動の方は、全体、当間加来、迷う人知っているもので、項目分けをしてもらってるんで、そういう話を聞ければと思いますけど。
0:20:04	(2)番の2ポツ(2)番の岩盤物性のところですね。
0:20:12	ここの
0:20:15	(ウ)で、
0:20:17	ばらつきの考え方ってあるんですけど、
0:20:20	今
0:20:22	介護について喜多耐震建物08だと、基本地盤モデルのばらつきっていうのは、検討フロー上だとこの外に入れていて、
0:20:34	どっちかという、括弧1なのか、もしくは括弧A6なのかっていうあたり2アノ要るものだと思ってたんですけど、認識違ってますか。
0:20:46	現に持っています。
0:20:48	そうですね。こちらです。
0:20:51	主にすみません、ガンバ方針について考えるもんですからここについて入れちゃったというわけですねすみませんおっしゃる通りなので、組み替えます。
0:21:02	古作です。それで言うと、(1)のとの関係は、
0:21:07	この括弧でしょ。
0:21:09	両方イケダカラー
0:21:11	そうですね。これが一部になるっていうことになるのかなということですね。はい。ちゃんと整理いたします。全体の中での対応ということで、はい。荘司課長。
0:21:24	はい。規制庁神谷です。あと、(4)の岩盤件数、
0:21:31	一応、揚げ足取りみたいになっちゃいますけど(ア)で、
0:21:37	追加データに基づく検討と既往のデータ、それぞれの位置付けっていうと、
0:21:47	一つ一つに対しての説明だけで、関連性がちゃんと説明できないっていうことのように見えてしまうのでそういう
0:21:58	横の関係っていうかね、関係性をちゃんと書いてくださいねって改めてお伝えしておきます。大丈夫ですかね。
0:22:05	はい。県民のみでございます。もうおっしゃる通りといいますかそれは言わずもがなだろうとおっしゃられても引っかからないんですが、

0:22:16	表現はちょっと考えます。認識は同じでございます。
0:22:23	はい。規制庁久米です。
0:22:25	同じく(4)の(エ)が、ここもまた基本地盤モデルに行ってるんですけど、ここ、このパートではなくてもっと外、何なら(1)のパートだと思います。
0:22:38	で、その辺は整理、頭の成立資料の整備を報じておいてください。
0:22:45	元三野でございます。
0:22:47	そうです。
0:22:49	要員費それぞれ基本基盤モデルでどう対応するかを、
0:22:55	決めてから集約するのか、
0:23:00	今あれですね、江藤市長立てとしては岩盤、そうですね、ちょっと考え方、どっちがどうか、お座りが良いのか全体フロー図の中でどう位置付けなのかね、
0:23:11	こちらだと、ちゃんと明確に答えるようにします。以上です。
0:23:17	はい。規制庁神ですここでやっちゃ駄目だと言っているわけでもないの寺町出野全体からするとずれてますよ。考え方は合わせといてください。よろしく願います。はい、サトウははい、了解いたしました。
0:23:34	はい。規制庁神です。あと、一通り言っちゃいますけど、表層のところのスケジュールの話がさっき出たんで大丈夫というか完全にするってことは、
0:23:46	わかりました。あとですねちょっと戻って恐縮なんですけど、(2)番の岩盤物性の
0:23:53	(4)(ア)、
0:23:57	ここ
0:24:02	なんか近傍の直下にはないもの、確かここ、このグループの中でこの建屋にもう、このナーのデータ使っているよって、一応確認をしておきますってということで、そこで
0:24:18	そちらとしては
0:24:21	岩盤の固有周期ですか、検討してますと。
0:24:25	いう話なんですけど、これも結構前からですね、何でこれでいいのかっていう話をしているところなかなか回答がないところなんです。で、
0:24:41	外部の専門家に見てもらってます、協力してもらってますと言って中に、この看板物性のこういう周期の話とかっていうのは行ってないんですか、どうなんですか。
0:24:53	原因ノモトでございます。ですね。

0:24:57	見ていただくようにします。どなたかにちょっとこれ出ていただくようにします。
0:25:04	はい。規制庁神です。こちら今までの話から言うと、当たり前はその固有周期のやり方がどうだっていうよりはそもそもこういう周期確認するっていうアプローチ自体が、
0:25:18	多分あまり前ではなくてですね、本当にまずそのアプローチを取るのかっていうところから話をしているところですからそのあたり、問題意識を確認し、
0:25:31	いただいてこのままいった方がいいのか、もっと簡単に説明できるんじゃないのってアドバイスをもらおうとか、いろいろあると思います。お願いします。
0:25:42	神野でございます。承知いたしました。
0:25:46	はい、規制庁カミデ私の方から以上ですけど他、規制庁側からこの項目で、この辺もあるよっていうのがあればお願いします。
0:26:02	規制庁コサクですけど。
0:26:07	今話をしたようなところで、この2ポツの内容自体は
0:26:11	整理していただいていいんだろうなと思うんですけど、この資料の体裁としては、バランスが悪いので、先ほど1ポツでは話したようなことをまず2ポツで書いてい。
0:26:22	同じように書いていただいて、
0:26:25	今これで整理したやつは別紙扱いにして、
0:26:29	いただくと、全体像がわかりやすいかなと。
0:26:33	検討いただければ
0:26:35	はい、後藤でございます。
0:26:40	古作です。というのも、耐震はその対応方針ないんですよ。
0:26:46	ので、対応方針ない分を、この紙を進め方日ヤノ資料の中で、
0:26:52	対応されると。
0:26:54	具体については個別。
0:26:56	補足説明が、
0:26:58	いうことだと思って、
0:27:00	よろしくお願いします。
0:27:10	それで、
0:27:12	対応方針の方に移っちゃうと、こっち戻って来づらくなるかもしれないので、

0:27:17	とりあえず、
0:27:20	スケジュール表のことも含めてざっと述べてしまうと、
0:27:23	まず、別添1のこの図わあ、変えてないっていいんで、
0:27:27	雨。
0:27:29	すいません、説明をさせましたが、まず説明グループの整理もまだ回答できてないので、
0:27:39	とりあえずっていうのはあれですけど、4ページの左右下の方の共通上に、外的事象も対策設備と防護対象等のやり方と分けてますけど、
0:27:50	資料1全体は、最初の外対策設備、資料にも、防護対象も含めて、全体を最初に出しますよという、
0:28:00	意思表示をさせていただきませんが、はい。そういったところは直してます。はい。
0:28:05	あとは左側の青字で書いてあるスケジュール的なもの。
0:28:08	ということでございます。はい。
0:28:12	とはいえ、説明をグループをどう分けるかによって今後大分変わるので、
0:28:18	こう書いたところで、
0:28:22	そうですわかりましたという書いて現時点での修正できることは修正してますってことです。
0:28:30	D、スケジュール表の方でSBSの関係を行っていただいた。
0:28:38	出ましたけど、
0:28:45	ちょっと面談の話なので、
0:28:47	この場でってあんまり言ってもいいとは思いますが、
0:28:50	5日の段階だとう今週2面談しようと言っていたはずで資料提示が今週ではなかったはずなんです。
0:28:59	ですよ。
0:29:01	そういうスケジュールリングするんだったらご連絡いたら、
0:29:05	いきたいなと思うので、狩野さんに言っていただければと思います。
0:29:13	はい。
0:29:14	見えない。
0:29:15	はい。
0:29:20	はい。
0:29:24	感じもありますが、はい。
0:29:28	私が多分、

0:29:34	15には多分終わるかなっていうのは次の週。
0:29:38	コメントをつけている方。
0:29:43	なおのことセットする
0:29:47	でやれって、
0:29:49	はい。
0:29:53	はい。
0:30:00	阿藤。
0:30:03	濃縮の補正とかもされ、お話しされましたけど、先週の会合の場、バックアップじゃない、アップアップで、
0:30:13	お話ししましたけども、
0:30:18	12の面談になる。
0:30:21	ている、設計プロセス数、連携の話と、
0:30:26	いうことにも関連すると思うので、
0:30:30	その場でも話をしながらやっていければと思ってますけど。
0:30:36	これらの資料、
0:30:38	8日に出ています。はい。いやあそこよく株の話とか、
0:30:46	ええ。
0:30:48	藤。
0:30:49	これもですね、資料見た限りは、この面談の話で申し訳ないんですけど、まだその一体化されてなくて結局、バラのタスクのようにしか見えない。
0:31:00	バラのようにしか見えないから、濃縮の方も含めてっていうのが、
0:31:04	言えないような感じになってる点をまず話をしなきゃいけないかなと。
0:31:09	思っ
0:31:10	てます。
0:31:13	はい。マグネシアでございますおっしゃっていただいている事業変更許可をする際のもとになる設計であったり、
0:31:22	申請書作成であったりというのは共通的な一つの業務であると思ってますので、それに対する社としての連携、
0:31:33	であったり運用の改善であったりというのを統一的にやっていくという意味では、一つのタスクで立ち上がっているものだと思ってます。その内訳の項目で幾つか派生があるというだけであって、
0:31:44	そこが全体のシナリオが多分、

0:31:48	書けてないというか、各人間がないのかというぐらいのところなのかなと思ってますので、そういうところからまず担当整理をしていければなと思います。はい。
0:31:58	はい。
0:31:59	不足ですよろしく願います。一応、
0:32:02	体制として、
0:32:06	どっちが先だと。
0:32:08	安全、安全品質本部。
0:32:11	会議が入られているので、入られてる通信なので、当然そういう意識を持ってやってもらえるとは思いつつも、なぜ資料が変わらないのかなということも含めて、
0:32:26	火曜日、明日、
0:32:28	話をしたい。
0:32:29	はい。
0:32:33	それでやっとならぬキックオフか。そうですね。はい。思ってます。
0:32:40	スケジュール関係で確認したかったといいですか。
0:32:59	イシイの分類の話とかもあつたんで、
0:33:02	最初の何例。
0:33:05	出してなんか 15 日に一応ヒアリングで話をして、
0:33:09	はい、与儀西原。
0:33:11	まず 13 日に出す資料 2、最初の設計説明
0:33:16	へ
0:33:17	も入ってます。そこも含めて 1521 のヒアリングで、内容も確認をさせていただこうと思ってます。はい。
0:33:29	ヒアリング二段階で設定して先ほど説明いただいたと思うんですけども、15 日の日家では資料に反映すべき事項等の反映状況の説明を行っていくのは、全部、
0:33:42	資料 1、3 という、日本アノ、
0:33:48	森木大類ですけど、対応方針で出ささせていただいたまた補いただいた方針に対して、こういう方針で、この部分を直してますっていうのを 1 個ずつ、
0:33:58	確認させていただいて、そこがまず大枠なので、そこで抜けがないかどうかというところと、再編の炉、考え方を説明します中身というのは、

0:34:09	そこが大きく増えてないかっていうところを、キャッチアップするっていうのが、15日の役割かなと思ってます。
0:34:27	円柱のタジリ、若干管理者がまず先ほど説明の中で資料1から3で言われたと思うんですけど、
0:34:34	実際の方だと、工場設計の資料3と評価の資料4の関係があって話できるんですけど、資料4の整理は、結局、仮想通貨切離し水の方っていう話なんですよ。
0:34:47	共通中に本体側に、はい。この間、前回は
0:34:52	一緒に出せるのかって言われて、ちょっと段階を分けたいということで、10月になっちゃうかもという話はさせていただいた状況でした。はい。
0:35:02	規制庁藤です。いや何かその認識だったんですけど一斉カツラと下旬やっていった場合に、この前後感が何かわからなかったっていうところなんですけど。
0:35:10	一応、考え方としては、1セガワで構造設計みたいなもので説明するものと評価としてやるものっていう、大枠の切り分けを、ゆすいを例にして、
0:35:22	まず考えてみてですね、その骨格をもらいながら、ただ今日通常に本体として資料4って一体何をやるものっていうのは、整理を進めますけどもそういう具体の例も含めて、
0:35:34	取り込んでいければなっていうふうには思っていました。
0:35:37	成長と2です。
0:35:39	ざっくり言うと溢水要は構造としてやんなきゃいけないもの評価としてやんなきゃいけないのでこういうのありますよっていうものをネタとして出した上で、そういったものも含めた上で、結局、
0:35:50	どういったもの、そういうような構造物と評価っていう考え方の見方が合えばという中で話すけど、資料4としての製品を教授に戻ってちゃんとやりますよね。どんな資料がそっちで。はい。わかりました。
0:36:06	はい。規制庁コサクです。今のもですね、対応方針にちゃんと書いてない。
0:36:12	ポイントなんだと思うんです。
0:36:14	肯定感を示すと。
0:36:16	いうことだと思うんですけど、資料4が同時に出せるわけがなくて、
0:36:22	であれば、どういうことをかませながらたどり着くのかっていうその道筋を明らかにしなきゃ。
0:36:29	いうことだと思うんで、

0:36:32	整理をしていければ、
0:36:37	よければあと対応方針、
0:36:40	こうですけど、まず
0:36:43	ようやくですね、ある程度これまでのヒアリングを踏まえて整理をしてきたというのが、共通中に本体が9月5日、
0:36:54	竜巻が7日一世が8日、
0:36:57	いうことで、
0:36:59	ある程度のもので出揃ったかなと。
0:37:03	いうところなんですけど、そうだったかなと思いつつ、柱書きで書きましようねといったものが、溢水は柱にならずに、基本の中に入ってる。
0:37:15	いう状況になっていたり、
0:37:18	中身がちょっと違ってい。
0:37:21	中身というか
0:37:23	ナンバリングして、表の中で書いてある項目分けがですね、趣旨が違っていたり、
0:37:31	というようなことがあって、どういうまとめ方するんですかっていう認識もまだ合っていないかな。
0:37:37	いう気がしているので、話をしていきたいと思ってますけど。
0:37:43	それだけ言われた段階で、いや、実はこういう思いがあってわざと書いてるんですとかっていうのがあればお聞きしますけど。
0:37:57	はい。
0:37:58	日本原燃の高屋でございます。おっしゃる通りフォーマットのにもやっぱきちんと合わせるべきだったというところで、そのいす。
0:38:06	あとはアノですね、認識をしております。で、唯一違う点としてはやっぱ共通住民と竜巻方法については、共通住民に対する対応方針というところと、
0:38:16	イセに関してはそれ以外にも整理すべきことが多いというところに、先ほど荒瀬だけが少し悩んでおりました。はい。以上でございます。はい、古作です。わかりました。
0:38:28	それが表題に少し表れてるかなと思うんですけど、溢水については平たく一斉損傷防止に係る
0:38:36	もし、
0:38:37	言われていて、竜巻防護の方は考え方の整理にかかるといっているので、前段だけ、
0:38:44	のように書いている。

0:38:46	ということだと思います。で、
0:38:50	私からの要望でいうと、溢水形にして欲しいなど。
0:38:56	思ってます。なぜなら、前段だけの整理で書いても、クローズしないんですよ。
0:39:03	実際に共通 12 に入ってもらわないといけなくてそのための作業であり、
0:39:09	それがどう繋がっていくのかがわからないと、先ほどの肯定感を示せない。
0:39:14	ということだと思うんで、広げていただきたいと。今日通常 2 ではクローズしなくて、先ほど私も言いましたけど、補足説明資料セットの
0:39:22	ですよ。
0:39:23	そうすると補足説明資料自体は共通 12 じゃない。
0:39:26	ですよ。
0:39:30	00 資料もあるし、
0:39:32	ということだから、それは一斉に限らず、竜巻だってゼロゼロ直していかなきゃいけないし、
0:39:40	ということなので、全体、認可を受けるまでの溢水の関係多数
0:39:47	竜巻の関係タスクと、
0:39:49	ということで整理を進めていけるようにしていただき、
0:39:52	思います。
0:39:54	共通 12 に関しては共通 2 点しかないので、
0:39:59	それはそれでいいんですけど、
0:40:01	まずは表題はそんな感じでお願いしたい。
0:40:05	ここまでいいですか。
0:40:08	衛藤コサクです。その上で共通 12 の対応方針を踏まえながらですけど、
0:40:15	その次に書いてあるのが共通 12 に係る対応方針の基本事項と書いてあるんですけど、
0:40:21	これでは、溢水竜巻が真似できないんですよ。
0:40:25	書いてある内容は別に内容は変わらない。許認可の
0:40:32	極論言うと基本許可から含めて考えていいことであるので、その意味では対応方針の基本事項と、単純にさせていただいたらよくて、
0:40:44	そのポイントは、前もお話したようにコメントリストといって、つまみ食いにならないように、

0:40:52	広く、自分たちがやるべきと思っているタスクをしっかりとまとめていきますと、
0:40:58	その方針をお見せしますっていう資料だと。
0:41:01	ということだと思うんですけど。
0:41:04	その中 2、最初のポツで後日コメントリストとして係数とか言ってはいけないうちは残っちゃってるんですよ。
0:41:15	ていうので、そこら辺は文言を整理をしなければいけないかなと思ってまして。
0:41:21	書いてある内容は大体その五つポツ分かれてますけど、大枠は実
0:41:27	4、
0:41:28	次まとまるのかなと思って、下の、
0:41:31	ポツで追記されてるのは、
0:41:33	結局全体のタスクとしますよということなので、
0:41:41	まとめていえる、いけるんじゃないかなと思っています。で、
0:41:48	その点とあと一番最初のポツで、ヒアリングの中で確認または対応方針をって言ってるんですけど、
0:41:57	これに限らないんですけどタワーとかで書いてる時って、基本設計方針もそうですけどね。
0:42:03	そのまたはの使い方って何なのっていうのは説明できず 2、いいとこ取りをしてる。
0:42:09	ことが多いんですよ。
0:42:11	なので、またはの趣旨、
0:42:15	うん。なるべくわかるような文章にしても、また主旨をっていうと変ですけど、使い分けがわかる文章に、こういうまたはでごまかすような形ではなくて、
0:42:27	変えていく必要があるんじゃないかなと。
0:42:29	思っています。基本的にはヒアリングの場で対応とそのヒアリングっていうのは、対応方針聞く場でもあるんで、
0:42:40	対応方針をヒアリングで言いましょうというのが基本であり、
0:42:45	その場で判断しきれないものがあると。
0:42:49	というようなことについては事後提示しますと。
0:42:52	ということだと思いますので、そういったことがわかるように書き下していただきたいなど。
0:42:58	いうところろうです。

0:43:02	その点は、
0:43:03	よろしいですね。はい。はい。
0:43:05	その次にポイントなのは、
0:43:11	藤。
0:43:13	先ほどの
0:43:17	対応全体でということを確認にすることで、コメントリストじゃないよと。
0:43:23	ということ。
0:43:24	あとは、
0:43:27	表の中でも目的を明確にしてというふうに書いていただけてますけど、この場所でもその目的とかをこのポツごとにですね、何のためにやるの、こういうことを考えるのか。
0:43:38	この資料ではということがわかるような文面にする必要があるだろう。
0:43:43	思ってます。
0:43:46	そのポイントとしては、なるべく集約していきましょうということなんですけど、その集約のは空の考え方。
0:43:57	目的っていうことを考えていきましょうねっていうのをお話したので二つ目のポツの三つ目のポツで、目的っていう言葉を、
0:44:05	書いていただけてるんですけど、先ほどもある程度まとめられますよねってお話したようにちょっと分散して書かれちゃってですね、ポイントがちよっとぼけ、ぼやけてるんですよ。
0:44:15	なので集約をして、
0:44:19	部分的に分抜き出していってまとめるとかっていうことが必要だと思いますけど。
0:44:23	体系をどうしていくのかということを考えていただきたいと。
0:44:28	で具体的にわあこれまでコメントリスト的になってたところの問題点は、資料のイメージが強かったってということなんです。
0:44:37	この資料のこの部分を直すっていうふうにコメントを受けたからその部分と、
0:44:41	ドレスとして枠つけたんですけど、
0:44:44	枠付けたんですけど、対応っていうと、
0:44:48	記載は
0:44:51	上から下まで流れていっててですね、本文において書いたものは当然資料の方にも展開をしていくと。
0:44:58	ということで、資料の場所ではとてもあらかわせない。

0:45:04	ということなんだと思ってます。曲率さらに先ほど言ったように、共通 12 の資料云々だけじゃなくて 00 もあれば、
0:45:14	別の補足もあればと。
0:45:16	或いは別のタスクの、
0:45:18	関係もあればということなので、
0:45:23	内容、
0:45:24	お考えながらまとめる必要があろうかなということだと思ってるんでなるべくそれがわかるような書き方をさせていただければと思うんですけど、具体的にどういうふうにまとめたらいいかちょっとこの後、表の中でお話をしたいと思います。
0:45:40	それで、
0:45:43	あとは先ほど申し上げたところですけど、工程をちゃんと明確にしましょうと。
0:45:49	いうことで、
0:45:51	は、
0:45:52	共通上にはちょっとうまくいなくて、資料 2 と資料 4 は 1、段階的にぐらいしかなくてないんですけど、
0:46:00	特にこの点を意識してコメントしたのは溢水であって、
0:46:07	溢水の方、
0:46:10	てみると、これちょっと書いてる場所が若いんですけど、
0:46:14	他のタスクとの関連性の中に、資料 2 はどうということ、資料 3 はどうということって書いてあるんで、
0:46:20	これを、
0:46:21	対応予定のところに、
0:46:24	工程として表して、
0:46:26	もし、
0:46:27	ということなんだと思いますんで、ちょっと内容に踏み込んでるので内容は対応方針側に変えて、
0:46:33	そのの、
0:46:37	日付だったりなんなりっていうのをこっちがなるべくコンパクト
0:46:43	ということなんじゃないかなと。
0:46:45	思います。
0:46:48	その点が 3 者 3 様になっちゃってたんですけど、大体今ので肯定感を示す形ってのは理解できました。

0:46:56	はい。
0:47:03	それで、あと、
0:47:06	これ、サトウ、今の共通 12 の基本事項だと四つめのポツになってますけど、
0:47:14	なるべく細かく分けはしないけど、対応漏れしないように、留意事項等でテイクノートしてきますよと。
0:47:23	ということなんですけど、そのテイクノートの仕方もちょうと、
0:47:27	雑って言い過ぎかな。
0:47:31	細かくいっぱい書いてあってですね。
0:47:33	まとめではいいよってということじゃなくて、理解しやすいようにするっていうことなので、
0:47:44	一応そのヒアリングの日付とかも書いてあるわけですから、
0:47:49	トレースしていけるわけで、
0:47:52	本当のテイクノートにしていきたいと。そのための先ほども対応方針で書いて、進め方ヒラノ資料ではそのワードを使ってというふうに言われたように、
0:48:04	うまいワード
0:48:06	うん。
0:48:07	1 句つくればいいんですね、それぞれに。
0:48:10	そこら辺を考えて列記をしていただきたい。
0:48:15	いうふうに思う。
0:48:18	基本事項の
0:48:20	部分では、
0:48:22	私から以上ですけど、
0:48:24	オカ。
0:48:26	今書いてある基本事項だけじゃなくても、中身を見ながら、こういうのも基本事項として欲しいなっていうのがあれば言っていた方がいいんですけど、ありますか。
0:48:39	よろしいですか。原燃側から、
0:48:42	今の話を聞いて、
0:48:45	こういうのもあるかなとか、こういうふうにしたいなとか何かある。
0:48:49	はい、弓削西田でございます。はい。今日中に本体の方でもですね、
0:48:56	あんまり細かく項目を挙げても結局全部が連携してるよねっていうところもあって、それを踏まえて書きつつも、

0:49:03	結局は章立てに分けてしまったんで、失敗かなって感じがします。はい。全体が関係してるってところからちゃんと意識してっていうところと、
0:49:14	今おっしゃっていただいてクドウとウダと言って書いたものは個別にダーツと書き続けたところで、これをどっか統合してとかっていうのは全く考えずにバラバラと書いてたけど、
0:49:25	どこも整理をして方針にかけるものは法律に書けばいい話なんで、そういうところも、整理を進めたい。
0:49:33	はい。
0:49:34	はい、古作ですよろしくお願いしますこれも一つの類型化なんですね。
0:49:41	私は、用語ちゃんと覚えてなくても申し訳ないですけど
0:49:45	昨日貿易法とかかっていう、なんていう絵からなのか下から
0:49:50	けど。
0:49:51	累計は、大体雑多なものをいかに、
0:49:56	考えを整理をしていくかっていうときに集約をしていて、そこで分析をして、
0:50:02	細分化がまた始まるのかもしれませんが、
0:50:07	やり、
0:50:09	機構を巡らせていくと。
0:50:10	ゴトウであって、
0:50:12	まずは集約、
0:50:14	をして、自分たちが本当のところ何をすべきなのか、どういう道筋で解決できるのかと。
0:50:21	いうことを考える上では、
0:50:25	入口の作業だと思いますので、よろしくお願いします。
0:50:30	そうしましたら次表の中の構成の話を少ししていきたいと思うんですけど。
0:50:39	まず 1 ポツ、
0:50:43	2 ポツ、
0:50:44	で大きく分かれていまして、
0:50:49	1 ポツが本文、
0:50:52	まあさ、本文にぶら下がる参考っていうのはある。
0:50:55	いう。
0:50:56	2 ポツは、個別条文での対応方針と、
0:51:01	なってるんですけど、

0:51:06	個別条文での対応方針をここに書く必要があるのか
0:51:11	いう気がするん。
0:51:12	溢水なり竜巻は別であるじゃないですか。
0:51:16	いうことがあって、
0:51:18	そもそもこっちのタスクってどうしてかかっていうのはあるんですけど、
0:51:24	はい。
0:51:26	三原でございます。そういう意味で先ほど 1.1 ですよ。
0:51:30	このタスクを中ぐらいにはしてるところがあって、
0:51:33	この中身をやるねシライの 2 番目のタスクを中身としてやるっていうタスクが多分あるので、
0:51:40	それと本文でやってるタスクであと切り分けて、対応方針を個別につくれればいいだけなので、そこは仕分けをさせていただきます。
0:51:51	そうすると多分、深野田沼 1 回生でやってることもあると思うんだけど、はい。
0:51:55	はい。補足わかりました。そうですね。イセ竜巻は共通順位を踏まえてと書かせておきながら、はい。後は、
0:52:03	知っているのは確かに案件は、
0:52:09	どっちの整理をするとおのずとタカヤナギ水もってということで、わかりやすいかと思うんで、
0:52:15	はい。はい。
0:52:17	その時に、そうするとですけど、2 ポツ 1 は、耐震 2 ポツ 2 が閉じ込められてるんですけど、
0:52:27	耐専って言いながらもこれはあれですよMOXの方でってことだから、アノなので、タフトタスクの立ち上げ方考えますけど、まずはMOXの説明、グループ 1、
0:52:39	お助けとか何かやり方分けるかなと思ってます。そうすると関連条文全部そこに入るんですね。はい。
0:52:45	はい、古作です。その方がいいと思います。ここです、条文で分けるのがいいのかってというのが
0:52:53	ちょっと気になってます。
0:52:55	結局は資料 3 というのを統合してですね、相互の条文の関係性をまとめて整理をしているっていう
0:53:04	もともとその条文ごとにとってたのを、ちょっとそうではいけない、うまくいかないよねと。
0:53:10	いう舵取りをしておきながら、ここでまた条文分けするっていうのは、

0:53:14	どうなんだろうとちょっと思ったので、そこも含めて整理をしてもらったらいいかな。
0:53:19	ます。
0:53:21	その次が1ポツの中、
0:53:24	なんですけど、先ほども言われたように、
0:53:27	括弧11、
0:53:29	括弧2ポツ1括弧を閉じてつつ、結局そのあとのかぎ括弧が証明しているように、資料の場所になっちゃっていて、これじゃ、前のコメントです。
0:53:42	ということなので、大きく見直していただきたいと思っています。
0:53:47	で、ただですね、共通中での本文の構成を見直した後の、
0:53:53	形で書いているので、
0:53:55	その意味では、前半部分で体系の整理をしていこうということの、
0:54:00	意図は組まれているんですよ。
0:54:04	なので、
0:54:05	後ろの方が、
0:54:08	細くなっちゃってるやつを前にひもづくんじゃないのというところを繰り上げていったらおのずと、
0:54:13	体系がそろうのかな。
0:54:15	あります。
0:54:16	で、現状(1)は概要って書いてますけど概要だと、タスクにならないので、そういう意味では資料全体を通じての体系整理ということで、全体どうあるべきかということの全体概念を、
0:54:30	整理をして、修正していくという作業だったりする。
0:54:34	ということだったと思うんで、現状の1ポツ1の1っていうところは文言的な整理をしていきましょう。全体を見通していきましょう。
0:54:44	ということで、D-2の方は資料のどこに何を、
0:54:50	整理をすべきなのかそれによって、タスクを明確にしていくのかと。
0:54:55	ということのポイントだと思う。
0:54:57	てます。
0:54:58	で、特に後ろについてぶら下がっているのは、そういった趣旨での具体例が多いので、この中に先ほど言った、留意事項というようなことでぶら下げていくことができるんじゃないかなと。
0:55:12	ます。

0:55:14	て、
0:55:15	次の
0:55:17	2-1 っておきながら 1 ポツ 1 の、
0:55:20	4 っ て書いてあるのはおそらく、その上の、
0:55:24	2 行目の 1 ポツ 1 ということはないと思いますけど、その意味でも、(二) 自体がそもそももしかするといらんのかもしれない。
0:55:35	いうことで、ここで書かれているのは、
0:55:40	設計説明分類。
0:55:43	説明グループ。
0:55:46	いうことの設定の方針をちゃんと、どういう趣旨で、
0:55:50	まとめるのか、どういう順番にするってということなのかという考え方を整理をしますと、
0:55:55	です考え方を整理をしてそれを具体的に適用していきますってということが書かれてるんだと、はい。
0:56:01	思いますので、その趣旨で表題なり何なり、
0:56:05	整理をしていただければいいんだと思います。
0:56:10	その時に、それが 1-1 の後もですね。はい。同じなんですよね。
0:56:18	違っているのは施設の特徴に応じてこういうふうにしますっていうのを、
0:56:26	何となく具体例として入れているところなのでこれまとめてもいいし、大枠の考え等舞台の適用にあたって施設の特徴としてはっていうので分けてもいいし、
0:56:37	少し整理をしていただいたらいいかなと。
0:56:41	まあそういう意味では順番逆じゃないのっていう感じもしますし、
0:56:46	整理してみて、やりやすいようにしていただければと思います。
0:56:54	等で、その中で少し整理をして欲しいなと思うのは、
0:57:01	今、共通中には本文の方で整理を進めてるところだと思うんですけど、主条文ってなかに
0:57:08	っていうことなんです。
0:57:10	そこがこの対応方針見ても、衆生分セットしますという古藤。
0:57:17	だけで、それをもとに考えますなんですけど、
0:57:20	な、何を主にすんの、その心はっていうのは管内で、
0:57:26	それがポイントかなと。
0:57:28	でます。
0:57:36	うん。

0:57:41	藤。
0:57:42	そう考えると、1 ポツ 1ー6。
0:57:47	7
0:57:51	なんかは、その具体例がいっぱい書いてあるんですよ。
0:57:55	ことでしかないかなと思うので、
0:58:02	一つのポツなり矢印なりを、
0:58:08	一行、
0:58:09	半行ぐらいですかね。
0:58:13	わかるような用語でポンポンポンとまとめていくぐらい。
0:58:19	いただいたほうがいいんじゃないかなあ。
0:58:22	いうふうに思います。
0:58:39	それももし、1 項目にはまとめる等、その具体例がまとめ過ぎたために、 どこの部分の具体例なのかがわからないという。
0:58:50	いうふうになってくる可能性もあるので、その時には何に対する具体例 として列記するのかっていうその小見出しをつけると。
0:58:59	いうことで工夫はできるかなと。
0:59:01	思います。或いは、ある程度この枠を分けて、分けた上で、枠と枠の関 係性っていうのを、立たすとの関係性の方に付議して、
0:59:13	ナンバー1 の対応の、
0:59:16	とは、こういうところで関係するのでそこは合わせて、ここの部分で合わ せて対応しますと。
0:59:22	いうふうにテイクノートするとか、
0:59:24	いうことはあり得ると。
0:59:26	思います。
0:59:28	まとめてしまった方が一番議論はしやすいのでありますけど、
0:59:34	うまく、
0:59:35	読みにてに伝わるように書けないということであれば、分けつつそういうふ うありだと思うので、考えていただければ
0:59:48	等、
0:59:53	市野一井の 8 と 9 なんですけど、
0:59:58	これはやたら具体に入っているんで、これも集約できるんだと思いま す。特に 1.2Ssなんかは、説明すべき事項としての入口の整理に当然 入ってくる。
1:00:12	もので、単品では出てくるものじゃないと思いますので、

1:00:17	多分、SAがまだ地に足がついてないから浮いちゃってるだけっていうことだと思います。
1:00:26	それで雄踏、
1:00:29	あれですかね、竜巻が、
1:00:32	先頭になっていって、
1:00:36	ということに具体としてはなる。
1:00:38	ですかね。はい。
1:00:40	それで言うと、
1:00:43	ここでやっぱり具体に書くというよりはそっちにゆだねて、そっちにゆだねられるように、入口として
1:00:50	説明すべき。
1:00:52	ことというのをどうピックアップしているか、だからそういう意味だと、SAとの関係みたいなことは少し触れておいてあげた方が、
1:01:00	それを受けて、竜巻側で具体、展開しますと。
1:01:05	骨格の考えは、
1:01:07	共通中に本体で整理されてますんで、具体的には 33 条、
1:01:12	の方でDBとの関係を、資料 2 で整理し、
1:01:16	それを受けて、
1:01:19	受けられるか
1:01:22	ハザード対応なんかは特にそれを受けて、DBSA、セットで整理をしていきますと。
1:01:28	いうことだから、個別の事象について対応していますという意見に、
1:01:35	ことだと思うんで、その点も連携を図って、
1:01:44	とりあえず全体の関係ということで、
1:01:49	Cポツ 1-9 に、
1:01:52	2 ページの部分まで、
1:01:53	お話しましたが、
1:01:56	ここまでで原燃から何か、
1:01:59	したいこととか言いたいことなり、悩んでいることなり、
1:02:09	ん。
1:02:15	こういう対応方針をちゃんとなるべく方針として具体的に
1:02:22	作業指示ができるようになってイメージで作っていかないといいながら、
1:02:27	これもし、おっしゃる通り 5 日間、あれ、何時ぐらい出してるんですけど、資料。

1:02:36	作業がさっき進んでないっていう話をしたら、共通 12 のいざ自分で直そうと思うと、それでSDを受けてできるかみたいな、無理だなと。
1:02:46	ファンもあって、やっぱり作り方がおかしいなっていうところは、うん。まだ、
1:02:51	細かいこと書いてる場合に、方針の舞台にウツミ踏み込んでないっていう。
1:02:56	中途半端な加減があるかなというところがあるので、
1:03:01	じゃあどういう考えを整理しなきゃいけないの、どういうところを、
1:03:06	何て言うか分解していかなくちゃいけないの考え方としてみたいところを、ちゃんと考え方として対応方針として書いていかないと、作業には繋がらないなというところ、
1:03:17	もあるんで、そういう目で、もう1回ちゃんと見て、整理をしていけばなと思ってます。はい。
1:03:23	はい。コサクです。その意味ではですね
1:03:26	なるべく
1:03:30	わかるワードに集約してというなお話しましたが、あくまでこの対応方針の紙として書くのであればと。
1:03:38	いう古藤です。
1:03:40	今石原さんが言われたように、まずその
1:03:44	何のためにやるのかとか、方向性とか、そういったところを示さない限り、具体を何やれと。ただ、場所にも指摘されてもですね。
1:03:56	どう書きゃいいのさってわからないわけですよ。
1:03:59	そこは
1:04:01	場所さえ指定してあれば部隊のやりとりなんか別の紙にあればですね。
1:04:08	指示としてはこういう方針なのねということを理解した上で、個別の対応の充実と、
1:04:14	その個別の紙の方であれっと思ったときには、いやでも大本のこっちの方針からするとこうなんじゃないですかというようなことを、やりとりを。
1:04:23	することができるようになると思うので、
1:04:25	一つ一つの指示書を、
1:04:28	吟味するのではなくて、まずは上流を吟味して、大枠として指示ができるように、
1:04:34	ということかなと思っています。

1:04:36	なんで現状矢印とかで書いてある文章文章で、別紙で対応方針の何番の具体のここについては、という指示書としてあってもいい。
1:04:48	そこ
1:04:49	なくてもできるのが一番理想ですけど、
1:04:52	なかなか県の
1:04:53	社員一人一人がどのレベルかっていうところは難しいと思うんで、応じて、詳細にしてあげたりと、
1:05:01	いうことは工夫していただいているんですけど、これは大本我々と認識を合わせるとい紙なので、個別具体まで我々に、
1:05:10	紙資料に出す前に申し入れをする必要はなくて、資料出てきたときにそうなればいだけの話だから、
1:05:17	大枠整理をして、
1:05:19	1人、
1:05:25	よろしいですかね。規制庁の田尻です。
1:05:28	ちょっと1点、認識合わせなんですけど今日ヒアリングで指摘したように今ちょっと長く書き過ぎて予定になってないものに関しては、本当にやらなきゃいけないところ予定絞って書かれてポイントだけ書かれるような形になるので、
1:05:40	もう大丈夫かもしれないけど、今の整理で行った場合に、例えばこの太陽工機に書き直すこととか追記することがあると思うんですけど、この連番の振り方とか、そこまでこだわるわけじゃないんですけど、
1:05:51	どんどん下に来る多分関連するものとの繋がりとかを見づらく飛ばなくて、
1:05:55	言ってるんですけど、こいつは今後どういうふう管理っていうか増えてったり引っ越してくる。
1:06:03	次回は1回からってなるから、多い時ですけど、その次、
1:06:09	番号をつけたので、
1:06:11	つけてもいいけど、あと児玉角田は言ってないから、
1:06:16	相田抜かします。
1:06:19	途中で話あったように、番号関連付け言った話があったのでそれをうまくやれば何かなるような気も一つなんですけど。
1:06:27	はい。だから、ここにさらに分かれてると何か意味わかんないですよ。もう組でどうすんのかなっていうのをね別に何か、
1:06:37	これじゃなかったこともないんですけど、はい。どうしてかなっていうのがあればと思ったんだよ。

1:06:43	考えます。コサクですけど、多分そんなにね追加する必要はないんですよ。変更修正をしていくことが多くて、タスクとして整理しているので新たなタスクが立ち上がることは、今日通常にここまで話をしてて、
1:06:58	新たなものって大きいのがないじゃないですか。
1:07:01	なので、追記、追加しないでくださいっていう方が正しいです。
1:07:13	あれやっぱここにあったと思うんです。
1:07:20	で、
1:07:21	けどこの番号のところにポイントを位置付けても入れてんですよっていう認識合わせとけば、私が修正されようがこの運用が、この項目の話だからその範囲だよっていうふうになりますし、
1:07:33	内容追加されても、その整備の話ですよ。多分イシカワ抜き合わせられるような気がするので、僕はわかるよねというパターンだと思います。以上です。
1:07:43	(1)括弧 2.1 とか 2.1 ってよくわかんないですけど、1.1 の一が変わってないっていう、この辺が多分、
1:07:52	だったら番号を変えればいいじゃんっていう話です。
1:07:55	はい。補足です。そその意味で先ほど一ー2 は趣旨違いますよねと。
1:08:00	いうことがあったりしたので、そういうの小見出しで書けばいいんだと思います。
1:08:05	今の1ポツ2ポツ、通知云々は意味がないので、消していただいて、そういう意味で、
1:08:13	ここの番号のところに踏み出しつけていただくといいかなと思うんで、それに寄ってそこで言ってるタスクってどこからどこの話なんだっけとかっていうのが、
1:08:23	認識できるようになると思うので、その関連するところに、ついハ、
1:08:29	新たな気づきがあったりしたものは追記をしていく。
1:08:33	対応方針の方向性を修正していくと。
1:08:36	というようなことをしていただければと思います。
1:08:45	特にそれで言うとですね溢水竜巻の、そのレベルの話でいうと、
1:08:53	まず、
1:08:55	出た人ばかりいまいしょうか。
1:08:59	Dは、
1:09:04	等、
1:09:11	そうだなあ。

1:09:15	あまり特に
1:09:18	1 ポツ 1-1 とかは、
1:09:22	書いて意味あんのかっていうような項目になって、
1:09:26	見えて、これも多分
1:09:30	表題のときにお話をした
1:09:33	前段の整理のタスク
1:09:36	についてと。
1:09:37	ということがあったので、
1:09:42	そ、そこに特化したから何かただやりますだけになっちゃってるっていうことのような気はするんですけど。
1:09:49	ええ。
1:09:53	藤。
1:09:55	共通 12 の先ほど言った体系
1:09:59	どういう考えのもとに、設計説明分類説明グループ整理をしていきますということ等の整理をしていくと。
1:10:09	いうことを受けて対応しますと、いうことは、あくまで前振りであって、
1:10:16	今日通常に対応方針の番号とかも振っていただいたらいいと思うんですけど、
1:10:22	その上で、
1:10:25	トップバッターということでもありですね、こういうような検討をしていて、その具体を詰めていきますという、
1:10:33	それを共通中にフィードバックしますとかっていうことがあるんじゃないかなと思うんですよ。
1:10:40	ていったところを、防止指針として明確にさせていただいて、先ほど言ったように対応予定日、ところに、
1:10:50	共通 12 の方針を整理されたらこうしますよ。
1:10:55	それを踏まえて、反映をしてもらいつつ、自分のところはこういう作業を進めて、確定していきますよ。
1:11:04	ということが、整理されるんじゃないかなと思います。
1:11:11	それで言うと、1 ポツ 1 と 1 ポツ 1 にいて、
1:11:17	分かれるのかっていうのもあたりするんですけど、実はあれですよ、共通中にも、ここで言ってる 1 ポツ 1 って、若干、
1:11:26	若干じゃないんだ、
1:11:29	まとまって 1 ポツ 1 の 4 なり 5 なり、

1:11:34	もう、
1:11:35	設計説明分類と説明グループって一蓮托生な感じがあって、
1:11:40	分けて確定できるわけでもないからというのでまとめて書かれていて、
1:11:45	ね。
1:11:46	それが元、竜巻の方行くと設計設備分類で、
1:11:51	単独で走っちゃってると。
1:11:53	いう風に今書きぶりになって、
1:11:56	てるんですけど。
1:11:59	共通 12 の側でいえバー。
1:12:03	はい。グループもまとめてまとめてくんでしょよね。現状-1、1 ポツ 1-1 でも、文章の中に岩瀬及び説明グループの整理についてはと書いて、
1:12:14	はい、はい。
1:12:16	はあ。
1:12:18	具体例が、まだそこまでしかいってないから書けてないって言ったらいい。
1:12:23	いいですかね。
1:12:25	日本原燃、
1:12:27	この市場は約-1 で、
1:12:29	なかったのは、
1:12:31	ツジ本体の方で検討している。
1:12:35	その設計説明分類、この下に書いてるやつですけど、これもヒアリング を受けて、
1:12:41	時々変わるんです。今一番したところ、内的事象となってますけど、
1:12:45	屋内の機器配管は内的で整理しましょうかねっていう話が、前回のヒア リングもありまして、それを受けて、シート資料我々変えてるところもあり ますので、
1:12:55	全体がちょっとわかるようにしたほうがいいかなっていうことで、確かそ のものではないかなと思って対応予定日とかちょっとバーにさせてもら ったんですけど、前提条件的な、
1:13:04	意味合いでちょっと書かせてもらったっていうのが、古作です。そうだと すると、対応方針で書くことじゃないです。
1:13:13	それはもう、
1:13:15	少なくとも我々との間では自明であって、共通順位を見ればいい話。
1:13:20	なので、

1:13:22	先ほど言ったように共通上にそこを踏まえてというふうにして書いてあれば十分、
1:13:29	Dなので、それこそじゃこの枠は要らなくてっていうことになって、
1:13:35	その次2にくっついてくるっていうことだと思うんですけど。
1:13:41	その次でもう分類を選定するになっててグループの話が出てこない。
1:13:48	ということなんで、
1:13:51	ちょっとなあと思いつつ、
1:13:55	でもその何ですかね、
1:13:58	共通12のソネでいうと、設計説明分類。
1:14:03	説明グループというところにいきなりドンと来るけど、そこに来る。
1:14:11	ためには、資料2の要求事項とかも、
1:14:15	あるてどう。
1:14:16	整理してナイトウ。
1:14:18	来年整理できないしと。
1:14:21	いうこともあったと思うので、
1:14:25	その点ではその共通上のその全体の方針を受けつつ、幾つかのタスクに設けるということはあっても、
1:14:33	いいんだと思います。
1:14:36	通したときに、
1:14:39	どうわかりますかねっていうのがポイントだと思うんですよ。これまで話をしていて、先ほどの進め方ヒラノ資料でもお話あったのは、
1:14:49	設計等評価の関係性を整理をしてきます。
1:14:53	と。
1:14:54	DBとSAの関係を整理をしていきます。
1:14:57	と。
1:15:01	あってその中にはなるんですけど、説明すべき技術項目ですか、を上げていって累計をしていきますと、
1:15:13	いう。
1:15:19	があったのかなと思います。
1:15:21	私言う順番を逆にすればよかったなと言ってからもありましたけど
1:15:28	後ろの方からで言うとそれがあって、ゆ累計の議論になって、
1:15:35	類型の考え方なり方向性ってのが見えてそこに、
1:15:40	現状
1:15:42	タスクの進め方いけばまずはD、

1:15:45	SMにいきなり入れちゃうと混乱するから、Dの範囲で整理をしてみましよう。
1:15:51	そ、それがあ程度していったらSM組みしていきましょう。
1:15:56	いう形になって、組してくと、SDの関係が整理できますよね。
1:16:04	いう、三つって分けつつも順々に溶け込ませていく形で整理ができる。
1:16:10	いうことだったかなと。
1:16:14	思います。
1:16:15	説明すべき項目っていうところの、
1:16:20	一部のパーツ 2 先ほど言った設計と評価の関係っていうのがあって、
1:16:27	資料 34 ということの割り振りもしていけるように、
1:16:31	ということなので、
1:16:34	その三つ巴のものをですね、まとめて書いて、工程として対応予定日、
1:16:42	2、書いていくのもよし、
1:16:45	分けていて順々に書くのもよしと。
1:16:48	ということで、整理をしていただければと思います。
1:17:00	現状竜巻で書かれてるのはその先にある具体の作業、
1:17:07	作業指示書、
1:17:09	書いてあるので、
1:17:14	そ、その部分は、さほど共有いただかなくても、
1:17:18	ていう。
1:17:20	あるんでまずその大枠の骨格を示して欲しい。
1:17:26	ですが、
1:17:28	言われ、
1:17:29	1 ポツ 2 までで言われてもちょっと困惑するところだと。
1:17:35	1 ポツ 3 ニワだからSAとDBって分けてるじゃないですかという。
1:17:40	ふうな、
1:17:43	思いはありませんか。
1:17:46	これを見たらうと、
1:17:49	1 ポツ 2-2 の目的のところ、
1:17:53	今一番ところですけど、
1:17:55	結果に対して 1 ポツ 3 項の整理表 2 っていうのを入れて、
1:17:59	この 1 ポツ 3 と 1 ポツ 2 っていうのは、
1:18:02	パラになってるといのかですね、その 1 ポツ 2 はまずDBでやりましよう っていうことで、1 ページ 2-1 番、

1:18:10	1 ポツ 2-2 は、
1:18:12	SAを込めてやりましょうっていうような、
1:18:15	9 月になって、
1:18:17	前回ヒアリングで
1:18:19	まずDBからやった方がいいんじゃないですかっていう話。
1:18:22	DBとSAの越冬エリア。
1:18:27	共通。
1:18:28	設計説明運営課の共通項目を、
1:18:31	皆さんにリリース分けてますんで、言いたかったのは、Ss-Dの話と、まさに今言った、
1:18:40	説明すべき事項といったところのは、
1:18:44	三つ巴というか、関係関係するなということで、
1:18:49	後から、
1:18:50	書いてるんじゃないかということじゃなくてですね、おっしゃる通りで、それぞれの関係を、
1:18:56	どういうふうに表示しながら、
1:19:03	はい。
1:19:04	それで言うと、
1:19:08	1 ポツ 2-1 と 2 が分かれてるのは何ですか。
1:19:14	これは江藤Dだけ。
1:19:21	まずは、
1:19:23	共通項っていうのは作ってからSABを、
1:19:28	パスという、
1:19:30	未認識を、前回のヒアリングで、コサクです。ごめんなさい。それとニワSAを加えるところで、
1:19:41	-1 がDBだけのものということで、そうで、わかりました。一方で、何で
1:19:49	その間にある。
1:19:51	のが 1-3 ということで整理され、
1:19:54	三野柴です。そこはもう、すいません。
1:19:58	セイリガクだけの話で、
1:20:00	制度DBの考え方っていうのは、まとめていただきましたように

1:20:07	事務局からの補足説明資料をもとに、整理し直し直しましようっていうので、それは書いてるんですけど、それはそれで一つのワークワークと 思っていたので、
1:20:17	溶け込ますということをちょっと、
1:20:19	という認識がなかったというそれだけ。
1:20:36	それはそれで理解をしつつもなぜじゃあ見にくいんだらうっていう。
1:20:41	いうのは、
1:20:42	多分、
1:20:44	1 ポツ 2。
1:20:46	麻生。
1:20:47	結局 1 ポツ 2 のん中の一部なんですよね木藤さんまでやっぱり、
1:20:59	デポ 2 の -1 とか 2 を実現しようと思うと、
1:21:04	作業が一番やらなきゃいけないんですよね。
1:21:09	だから、1 ポツ 3 の中に入れつつ 1 ポツ 2 の、
1:21:14	123 構成になるじゃないですか。はい。その趣旨を、先ほど言った小見出しのようにしてちゃんと
1:21:20	言えば、或いは今書いてある目的っていうところをもう少し見やすくして いただくと。
1:21:27	意図がわかるのかなと。
1:21:33	D、
1:21:34	特にですね現状妥当設計説明分類の整理っていうのが強く出ちゃって て、
1:21:40	そのために説明すべき項目をしっかりと洗い出すんだ、その関連性を見 るんだっていう、
1:21:46	想いが見にくくなっちゃってるんですよね。
1:21:50	作業プロセスの中でだけになっちゃってるので、
1:21:53	そこは、主文の方で見えるようにしてもらったらいいかと。
1:22:03	そうするとですねその中に先ほど言った評価設計、
1:22:09	もう、
1:22:10	本来だと入ってくる。
1:22:12	ですけど、そこってどうするつもりですか。
1:22:16	逃げるんですよ。
1:22:20	藤。
1:22:24	2 ポツ 2、3 番目も、

1:22:29	2-1 というところで、2 ポツ 2 が資料 3 の記載事項の整理っていうふう に、
1:22:36	資料 3 の中でも、
1:22:39	3 と 4 と話したかと思うんで、
1:22:42	ちょっとする方、古作です。5 月の多分根本的なずれがあって、資料 2 の話だと私は思ってこれまで話をしてたんです。
1:22:53	はい。
1:22:55	基本設計方針だと評価的に書かれてるけどそこに隠れている設計のもの のを、資料 2 の段階で抽出しないと。
1:23:04	資料三、四に振り分けられない、或いは資料三、四の間で繋がるという ものがどれとどれかと。
1:23:12	示すことができないということだったと思うので、
1:23:15	資料 2 の世界だろうと。そうすると、
1:23:18	その前の 1-2 なり、
1:23:21	3 のところのタスクとしてまず挙げておかないと。
1:23:26	いけないんじゃないのかなっていうのが私のイメージだったんです。石 原さんですね。はい。
1:23:32	ただちょっと、
1:23:34	多分、
1:23:35	石黒さんの持つる世代になると結構竜巻はすっきり分かれてると思っ てるから、あんまりタスクとして気にしてなかったのかなっていう思いも あります。ただ、
1:23:44	竜巻の基本設計をしていただくと同強度を確保すると言いながら、確 保するとあんま書いてなくて、構造強度評価して書いてある、普通に なので、あのままいくと評価しか出てこないんですけど、それはもう構造 強度を確保する設計があって、
1:23:57	評価なんですよって考えると、ダブルダッチ普通に出てくるだろうと思 ってて、あまりそんなに難しくないだろうと思われるところが、
1:24:05	これに見事に寄与します。はい。はい。コサクです私も、
1:24:11	意識でいまして、
1:24:13	議論しないとうまくいかないっていうようなタスクだとは思ってないんです けど、表現ぶりだけ愚直に見ちゃうと評価に持ってっちゃう。
1:24:21	部分が多いんですね。実際はもう資料 3 の方で書いていただいたりする ので、
1:24:28	内容として問題わあ、あんまり。

1:24:31	ないんですけど、資料に実際にちゃんと書き込もうと思うと間違えることもあるよと。
1:24:36	ということなので、一応ちゃんとタスクとしては入れておいて、
1:24:42	ほらねっていう感じに。
1:24:44	て言ってもらえればと思います。
1:24:51	そうする等、現状の資料 3、個別でっていうのはあまりなくてっていう感じに。
1:24:57	なるんですけど、ちょっとまた共通中に戻ったときにそこら辺の個別をもっとお話ししたいと。
1:25:04	それで、幾らか個別には 1 時には、
1:25:10	共通上 2 点をまとめている部分を細分化しつつ、
1:25:13	まとめたほうが、具体のタスクとの繋がりがよさそうだと。
1:25:17	いうことで、
1:25:20	いくつか集約をしたり並べ替えをしたり、
1:25:23	モリイ矢印の部分は、
1:25:25	少しコンパクト
1:25:28	ことをしていただければ、
1:25:32	減って、
1:25:34	運用の分も西層になりますけど、
1:25:36	ありがとうございます。
1:25:37	一声はですね、今の関係から、そもそもこのナンバーワンっていらないですよ。
1:25:43	はい、多賀です。もう生み出し目次という
1:25:48	令和ナンバーワン時代が、それ以降 No. 2345 を展開してるというだけで、古作です
1:25:58	であれば、要らなくて、目次なくても数枚物で書けばいい。
1:26:04	実際要求なので現状だと 7 ページになってますけど、
1:26:08	そんなにいけないので、
1:26:15	もう資料も何枚かめくったらここで、
1:26:17	これが書いてあるね。
1:26:20	1 件。
1:26:21	1 ページ目このことから、2 ページみたいな、
1:26:24	わかるぐらいにさせていただいたら十分な、
1:26:27	いらない

1:26:29	ですって。
1:26:31	現状のナンバー2 が一今話をし、
1:26:37	ナンバー2。
1:26:38	No.2No.3 が、今話をしていたことと、
1:26:42	ということで、これはある程度例えば区と平仄をとった感じの、
1:26:47	二つに大きく、DSAっていうのはわかってますけど、
1:26:51	はい。同じように対応していただいたら、
1:26:54	思い、
1:26:56	一方で3-3 みたいな、3-3 なり 3-4、3 笠野 2 なり 3-4、3-3、
1:27:04	その中で、SAとして特異に、
1:27:09	溢水で出てくるものという具体例だと思うので、
1:27:14	まとめつつ、具体例として、例えばここは気をつけます航空機をつけますっていうふうに言ってイクノとしていただいたらいい事項かな。
1:27:23	実際
1:27:25	右側へ行けば、タスクの関連と風をまとめて書かれたりするんで、項目番号をまとめてしまって、
1:27:32	対応としての分類分けはしない。
1:27:43	で、
1:27:46	一斉だとその次のようにページ下からNo.4 に入ってちょっと問題があつて、
1:27:51	これはNo. 2 の中に、難波新居さんと小松の中に、さらに飛び込ますべきもので、
1:28:00	それを具体的に分けていくと。
1:28:03	具体的なその現状、
1:28:06	タスクとの関連ってふうにしちゃってるように、肯定感を示して、
1:28:12	結局どれもう同じことが書かれている。
1:28:17	整理をしてください。現状書かれてるのほとんど具体例がいっぱい書いてるだけ。
1:28:24	はい。
1:28:25	それは、
1:28:28	一旦は集約していただいていいと思うんですね。
1:28:34	例えば、
1:28:39	スロッシングだったり、

1:28:43	水源だったりって 4-2 オンダ 3 みたいなのは具体例としてこれまでに結構
1:28:49	トピックを挙げて、
1:28:51	話をしていますけど、
1:28:53	こういったものは、
1:28:55	対応方針の方は、項目出しただけができていけば我々としては通じるかなと。
1:29:02	思うんですけど、
1:29:04	対応予定として、
1:29:07	どうしていくんだっていう時に、これ補足説明って書いてあるじゃないですか。
1:29:14	補足説明っていいながら事前に整理をしていくべき事項ってというのがかみ合わないんですよ。
1:29:19	補足説明資料自体は、
1:29:22	全体でいうと本来は共通 12 とセットで出していく。
1:29:26	いう具体をしっかりと説明するもので、事前にそこまで説明してもらおう。
1:29:33	ものじゃなかったんですね。で、
1:29:37	いきなりそっちの世界に行けるものであればいいんですけど、何で事前に説明、整理をしておかなきゃいけなかったかっていうところが、何か抜け落ちちゃってるような気がする。
1:29:50	それは何かっていうと、結局はその説明すべき項目をしっかりと、
1:29:56	整理をし、累計としてまとめきれるか。
1:30:00	ということが一できてないから、
1:30:03	なんだと思うんですよ。
1:30:05	そんな時に、例えば、
1:30:08	1 水源の方であれば、水源、
1:30:12	としないために、耐震設計を施す。
1:30:15	もの。
1:30:16	はあると思っています。
1:30:19	であるのであればそれをどう類型の中に入れますかっていう、
1:30:24	ことの論点があるから事前に話をしてるわけですね。
1:30:28	水区画なり、溢水経路も同じで、そういう特異なものがあるんだったらどう扱いますかと。
1:30:35	いうのがあるから話をしてるってということなので、

1:30:38	2-1 なりの枠に、
1:30:41	そもそも入りますよね。
1:30:45	その枠に入ってますは
1:30:50	設計説明文の中で扱いますってところを整理をすると。
1:30:54	いうタスクがあって、その上で、具体の経路はどうしますか。
1:30:59	有井。
1:31:00	ここの部分がDBの経路で生成のルートです。だったり、
1:31:04	ていうのは個別説明で当然、
1:31:06	いいし、
1:31:08	どのフェーズ、
1:31:10	んついてをどこであらわすかっていうのはそれぞれにある話だと思うので、
1:31:15	そういったものを対応予定案、方針である程度の骨格を示した上で対応予定日で、その段階というのを明確にしていた。
1:31:23	いうことが必要かと。
1:31:25	で、
1:31:28	その上で、個別に入っていく等とても
1:31:32	ナンバー2 の中で、
1:31:34	相手国は、
1:31:36	厳しい明日じゃないですか。ここいっぱい出てくるので補足説明資料で、はい。
1:31:41	なので、そそうになってきたら、別タスクで立ち上げてもいいんだと。
1:31:48	これについての具体を整理していく。
1:31:52	というようなことであってもいいかな。
1:31:58	その点では、特に溢水についてわあ、これまで多く、
1:32:02	オダしているんで、
1:32:04	それに対して、
1:32:12	共通中に人を直接、
1:32:14	関係、関係ないって言い過ぎかもしれないですけど、大きな作業はなくて、どちらかというと 00 だったり個別説明だったりと、
1:32:22	いうことも多いと思うんで、そこら辺は別枠を設けつつ、
1:32:28	共通所に絡むところではそっちに奮っていな、何番で、
1:32:33	について整理することにしてますっていうふうに書いていただければ、
1:32:36	いいかな。

1:32:37	その場合はタスクの関連性のところにナンバリングした。
1:32:41	見ていただくと、
1:32:46	それで言うと、今そんなイメージでお話しましたけど、
1:32:51	竜巻だ等対応予定日のところにそのリンクが書かれている。
1:32:55	タスクっていうのは、
1:32:57	竜巻じゃない人たちのタスクっていう、
1:33:01	ああいう共通 12 じゃないものもタスクっていうような感じに、
1:33:05	やってたりするんですけど。
1:33:11	これは、
1:33:14	いろいろなんですけど私のイメージは、対応方針の中に書いてあるものが、対応予定日として、日付なり何名か。
1:33:23	ということで、タスクって言うのはこの業じゃないもの。
1:33:29	のリンクすべてだと思って。
1:33:32	どうして。うん。
1:33:34	当然他のす他の対応方針の業務ですけど、
1:33:39	だから自分の中で、ナンバーワンに対しのところ、ナンバー3 の何とかを踏まえて、何とかしますっていう、
1:33:47	あります。
1:33:49	共通 12 の何番を踏まえて、
1:33:52	これがあります。
1:33:56	そんなに。
1:33:59	多くないと思うんで。
1:34:01	大丈夫だと思うんですけど。
1:34:05	これ
1:34:06	なので共通でいいですかね。
1:34:16	ちょっとforマツノところだけで言うと、
1:34:19	溢水だけ 13 条反映ってのが書いてあって、
1:34:23	だけどほとんどようようでは、4-3 って、
1:34:27	なってるんですけど、これは入りますか。
1:34:31	他にもちょっと、
1:34:34	はいセンミョウミナミタカギございます。
1:34:36	ここについては、
1:34:38	前回のヒアリングを踏まえて、地盤情報の反映、明確化するということで、

1:34:46	おりますが、
1:34:48	店長の丹治です。多分、やりとりは医薬品にも当然反映するんだよねって話なんです。
1:34:56	明らかに役員じゃないよなんて、ここ自営なので、重なってるのっていう気はしましてむしろ、大体反映します。
1:35:04	はい。人間の高井です。すいません私の会社。
1:35:09	すいませんアノ行まで追加してしまいましたがおっしゃる通りであるとかそういうそれぐらいですので、おそらくそれと言うと、表題をともにしちゃってるから、そういう疑念が、
1:35:20	層準だと思うので、明示的に書いたらいい。
1:35:24	いす医薬品の対応方針とか週次で示させてもらって、特にどっちっていう時に、対応方針のところでは明示して、こっちについて対応します。
1:35:37	というようなことがわかれば、
1:35:43	はい。
1:35:49	店長の加治ですけど、ミナミ1性能何%っていうのは、これは、
1:35:56	どのバージョンていうか、
1:35:57	この人が何か、昔のやつNo.2の3月に提出したナンバーが一番右の、はい。
1:36:09	コサクですけど、
1:36:10	ちょっとまたこの資料シャフリングしなきゃいけないので、
1:36:16	まずは残しておきつつ、整理できたところではもう、過去のやつはもういいんじゃないですかっていうタイミングがあってもいいんじゃないかなと思います。
1:36:25	衛藤です小関名取さんにナンバーが二つあって頑張って、
1:36:30	ナンバーでそういうことですよっていう確認行為だったんで気持ちは特に井清に関しては個別に質問をしてきたところではあるので、
1:36:40	最後綺麗になればどこに取り込んでるかわかりやすくなると思うんですけど、現状はって書いてあるということでは言ってました。はい。
1:36:48	昨日強いて言えば、右のナンバーは
1:36:51	何月何日提出の
1:36:54	ナゴっていう、
1:36:56	こととかを振っておけば、
1:36:57	いいんじゃないかと思います。
1:37:05	はい。

1:37:06	藤善太的な話としては1以上ですけど、
1:37:13	具体と入っていくと、共通中には
1:37:17	そのあと、資料1237と。
1:37:21	はい。
1:37:22	できてるんですけど。
1:37:24	これも先ほど言ったように資料1でクローズスルー者は、
1:37:29	いいんですけども、例えば11番なんかは、
1:37:33	主従の関係っていう、細かな
1:37:36	整理他の資料に跳ねない単独なので、それはこういう枠があってもいいんだらうな。
1:37:44	と思いますが、
1:37:48	とそういうものだけに今なってるかっていうと、
1:37:51	大丈夫かなっていう気もするんですけど、どうですかね。
1:37:55	そういう意味でいくと、15番なんかは、資料2と資料4の関係が出てきたりですね、リンクがあるのはあるので、先ほどの他のパスとの関係性のところでリンクを飛ばしてやりとりをするか、もしくは、
1:38:10	そういうのは全体方針でしようということで大枠のところを書くか、ちょっと整理をさせて、
1:38:16	はい。
1:38:17	そうです。私のイメージと上に持ち上げちゃって、やっぱり肝になるところの整理で抜けちゃうとですね。
1:38:24	後でまとまりがつかなくなるんで、なるべく上に持ち上げつつ、それを受ける個別っていうものであれば、個別として変えていくと。
1:38:34	いうことで仕分けをしていただいたらいいかなと。
1:38:39	はい。西原でございますそうですねそういう意味でいくと、
1:38:44	どちらかという思想的なことを書いているものが、個別のところに行ってもしょうがない。これは前の方に持ってきて全体の枠組みで書くと。
1:38:52	いうことかなと思います。はい。
1:38:55	ご説明よろしくお願ひします。12番もあれですかね、資料1にとも多賀って書いてて、しかも竜巻渦を考えて、全体についていう感じなんで、もう完全に総合的な全体の枠組みの話ですね。はい。
1:39:17	うん。
1:39:18	はい。

1:39:20	一つ一つは言いませんで、そういったところ整理をしていっていただければと思います。
1:39:26	そうすると大枠のところの対応の仕方がこちらを見れば、大枠ずれてないかっていうことはわかりますし、この、
1:39:38	フォーマットの話っていうのはこっちの個別の方見ていけば、
1:39:48	等、
1:39:57	本当の話で、
1:39:59	4 ページとかの資料に入ってくると先ほど 2 ポツを別枠に分けるといったものも、
1:40:06	何かその別枠に入りそうなものまでここに書いてたりするところもあるので、そこはちょっと、
1:40:11	仕分けをします。
1:40:13	20 番なんかは、
1:40:16	理事がどっちかっていうと偏ってるかもするので、
1:40:21	とはいえ、設備間の相互影響を考慮したってところを整理しなきゃいけないって意味では、資料 3 の
1:40:29	整理事項である気はするんですけど、とはいえ、何か書いてることが大分ターゲットが絞られてくるので、ちょっと先ほどの他のタスクとの関係は整理をしていきたい。
1:40:41	はい。
1:40:44	そういう意味では、あれか。
1:40:49	2、22 番なんかさっきの 15 番と、
1:40:52	井元なんかへエンドウして登記をするので、おんなじことをダブルで書いてるっていう感じがするのでちょっとその辺の整理をさせていただきます。はい。
1:41:05	規制庁日下です。
1:41:08	今お話いただいたようなところで資料 123 については整理、
1:41:16	なるべく関連するものは、前段で、
1:41:18	整理をしてしまえるように、その上で、個別に展開するものを、個別の部分のタスクの方に閉じ込める。
1:41:28	いうことにしていただきたいと。
1:41:30	そうしていったときに、
1:41:35	(4)に行ってる資料 4 なんですけど、先ほども少しありましたけど、
1:41:40	そんなすぐにはできないよねと言いながら、対応予定日し 9 月 10 日というのを全部取ってんですけど、

1:41:49	これはおそらくあれです。
1:41:51	でも、
1:41:52	本文でさえ、
1:41:54	ね。
1:42:02	これは率か。
1:42:05	9月12日は、
1:42:06	あんまりそんな整理した方が
1:42:09	これは担当者
1:42:15	できて資料2のところ資料4に振るものが明確になるとかそのぐら い。
1:42:20	だと思って。
1:42:22	石井さん、どうぞ。
1:42:27	伊予前田上と並行してやりながらもそういうのも見ながらっていうつもり だったんですけど、はい。
1:42:32	それとの関係も含め、
1:42:35	はい。
1:42:37	その下の1ポツ23号は先ほどの井清で全然イマセンよねと同じなんで すけど要らないですね、消します。
1:42:58	それでまた、竜巻水の方見ると、
1:43:07	滝真木の方は資料3では先ほど話した。
1:43:11	終わって、
1:43:14	逆にあまり書いてないので、
1:43:17	今後、
1:43:19	案に関わる場所っていうのは、
1:43:22	2ページの一番下のところの、
1:43:25	2ポツっていうのは、資料3、事前作業。
1:43:29	令和性質制度布石なんですけど、16時半到着になります。
1:43:38	はい。ごめんなさい。
1:43:40	設計説明分類の中から代表設備っていうのを、
1:43:45	そうですね。代表選ばないといけないと思うんですけども、
1:43:49	選ぶ際には、
1:43:51	資料3の記載の、
1:43:53	もうある程度踏み込んだ形になるので、
1:43:56	皆さん、

1:43:58	今までの話聞いてました。
1:44:00	はい。資料3として書くのは資料3だけ。
1:44:04	の話。
1:44:06	に絞りましょうでは、分類だったり何なりに関係するのは前段で整理をしましょうと、ということなので、今言ったような話は、前段に整理をしてくださってなると、
1:44:18	ここで、竜巻に今の資料に資料3onlyの話っていうのはありませんねと。
1:44:23	そういうことになるので、今後変えていってくださいね。
1:44:27	必要に応じてっていうことだけです。はい。
1:44:32	溢水の方は、
1:44:37	と。
1:44:41	イシイの方はないのか、そういう、
1:44:45	先週、
1:44:50	ないです。
1:44:52	こちらが出て各場所が間違ってた他のタスクとの関連性で個別にやっていますので、
1:45:00	その整理の中で、はい、記載した。
1:45:03	はい、わかりました。そうですね。溢水も経路としてはこういうふうに変えていきますとか何とかっていう部分はあると思うんで、それで整理をしてもらえれば
1:45:20	12で後の2ポツは最初の方に大枠だけ話しましたけど同じように、
1:45:25	大体資料3に関連することが書かれてるんじゃないかなと。
1:45:29	思いますけど。
1:45:31	うん。整理をして、ちょっと具体的すぎるじゃない。
1:45:46	本当。
1:45:48	うん。完璧。
1:45:56	長ヤマグチです。対応方針に関して、甲斐規制庁側から何かありますでしょうか。
1:46:03	規制庁の丹治ですけど。
1:46:06	中間的には、これはいつ直そうとすると、どれぐらいかと。
1:46:12	はい。
1:46:18	いや、何にしてるかっていうと、今日竜巻は入ってないですけど、SEがヒアリング的には皆、

1:46:27	14、14ぐらいヒアリングが入ってて、はい。
1:46:30	うん。もう今直ってない状況で、そのヒアリングやるのはさすがに詰めか、はい。ていうのもあって何かこの場で答えてもなかなか難しいところかなと思うんですけども。
1:46:41	あとその重要なヒアリングでどうすんだとかいろいろですね。はい。
1:46:45	ちょっとイメージがあれば、リブです。
1:46:48	はい。日本原燃の高井です。まさにご相談したかったところで、重要かどうするかっていうところなので、資料の修正とヒアリング。
1:47:09	フジキニワせる
1:47:11	明日 1 日
1:47:12	水曜日の 16 時まで。
1:47:15	もう、ほぼ 2 日。
1:47:18	協議中でしょ。
1:47:20	はい。修正して、水曜日に
1:47:26	イソタニですけど、
1:47:28	若干入りますけど、これに時間かけ過ぎてもしやあないでしょ。多分、直してスタートって狭いの準備してるから
1:47:36	パタッと切らないといけないから。
1:47:39	はい。別に何かここで早く行ったからそうすることはもうないとは思いますが、ただ、
1:47:45	共通 12 であろうがアトベというの方も 1 回ぐらい何か議論になるような気がします。引き当てたっていうところが見えるものをちょっと出したりしたことはないかなと思います。
1:47:55	はい、山中です。はい、承知いたしました。
1:47:58	すごい。
1:48:00	お願いします。
1:48:08	一応、ちょっと 1 点確認なんですけども。
1:48:11	内容で、
1:48:13	整理はされると思うんですけど、溢水の方で、名前呼んでは個別の一つ目の前に整理しておくべきことっていうのを挙げられて、
1:48:23	内容、予定日に書かれてる説明っていうのはちょっと一部共通っていう書き方があるんですけど、これって、
1:48:31	補足説明資料っていうつもりで書いたんですかね。昔のコメン等リストの実施みたいな形で、ここに

1:48:41	この対応方針にちょっと細かいこと書きすぎると、
1:48:45	粹取りすぎるから別途別紙みたいな話です。
1:48:48	はい。何ですか。はい。日本原燃高井でございます。別紙というイメージで書いておりました。で、先ほどのお話でやっぱ具体のタスクとして分けるところなんでそこも含めて、はい。整理をさせていただきたいと思います。
1:49:03	わかりましたちょっと確かに
1:49:07	資料という形ではもちろん、何を補足説明し出すべきかっていうのを整理をしてから、
1:49:13	なされるものだと思うんですけども、
1:49:16	方針として確認すべき事項っていうのもあると思うので、
1:49:22	イワマカンバラの関連だと思うんですけどもその中でそれを先に早めに教えて、
1:49:32	承知いたしました。
1:49:37	成長の場ですねと、共通 12 の対応方針っていう、
1:49:43	13 日に共通自体スライドしましたんで、おんなじ日に出すか 14 日に出すか。
1:49:53	はい。15 分前までにいたします。はい。
1:49:58	何で俺には 13 って言って、
1:50:02	別だけど、15 日だったんです。
1:50:06	めっちゃすごいね。
1:50:12	新屋ヤマグチですとか、規制庁ございますでしょうか。
1:50:26	おヤマグチでしょと現場から、特によろしいでしょうか。
1:50:31	それではこれであったんですよ。
1:50:39	はい。はい。今日は、今日は、
1:50:43	今日は火曜日、特に対応方針の話ばかりだったので、はい。
1:50:48	いただいたものの通り修正をして提出をさせていただきますと、いうことは
1:50:55	今後の進め方のところの役割ですね、これは
1:51:01	個別の対応方針が立ち上がってる状況を踏まえて、どちらかという中長期的な進め方プラス、喫緊のやつは、
1:51:10	対応方針のところに預けているもののタスクのキーワード化したもので、状況が説明できるようにということで整理をさせていただこうということで、次回からそういう整理をさせていただきたいと思います。はい。

1:51:22	店長武居スズエ中身の話なかったし、木曜日の石井池谷の金曜日の進め方ヒアリングなんかも結果に形になってください。はい。
1:51:38	日本原燃、
1:51:40	抜け、
1:51:41	人といえますか。
1:51:44	上がって、
1:51:45	竜巻の方で、
1:51:47	一応、9月14日提出予定。
1:51:51	まあ、これ中身オオウチを、
1:51:53	クラタ上で、それ、
1:51:57	もう一方用というのですね、今回も積もることで、14日に提出というような認識で、
1:52:04	まして今ほどこの修正版、提出時期ちょっと竜巻だけ入れなかったと、今申し上げようと思うんですけど、
1:52:12	アノイセいただきたいんで、何とか13日には、
1:52:18	その上で、
1:52:21	中身の議論をちょっとできなかつたんですけど、
1:52:23	我々の目的ですか
1:52:26	達するのがいいのかどうかっていうところは少しちょっと、
1:52:31	なんなので、
1:52:38	3、
1:52:40	さって出させてください
1:52:41	て、
1:52:44	見ていただいてから、
1:52:47	のがいいのか。
1:52:48	ものを一旦出してくれていいので言いますが、ちょっと気になってるんです。
1:52:54	出すかどうか、店長の田尻です。今の話っていうのはタカキが資料が10ナリタ. 4。
1:53:02	有用で、でもその前に小貫進め方の資料を出さずって話だったんですけども、ヤノ現時点で予定変えても仕方なくて、ただ、ヒアリングで倒れた時点でそれをどこに行ってますけど、ヒアリングなくて、

1:53:16	何で被水のヒアリングやって、次の仕方もできないっていう状況なんですけど、いずれ食事、これがどう整理される方も変わらない気がするんですけど、
1:53:26	その対応方針の下ミイで、何か中身かわいそうな、
1:53:31	そういうことじゃないんですけど、ナカイの議論がなかったのもちょっと大きな話ですので、
1:53:37	出てナカセいただきたいと思います。
1:53:41	うん。どういう形でタケダしてもソネノジリしかないような気がするんで。はい。そういう状況が今のところ予定は変わらずということで、ただ進め方の方針、対応方針の紙に関しては修正版を配布いたしますよ。
1:53:55	そうです。
1:54:01	よろしいでしょうか。
1:54:05	それではこれで本日のヒアリングを終了しますので録音を停止。